

# アジアと女性解放

## Asian Women's Liberation

アジアの女たちの会

連絡先・横浜市保土ヶ谷区桜ヶ丘112  
県住公社147・五島昌子 400円

特集

### アジアの闘う女たち

No.6

1979.6

二周年記念号



フィリピン、ホロ島でバナナを売る女性たち

韓国東一紡織女子労働者の闘いから

脚本全文掲載

「ウリ・スンニ・ハリラ」  
(われらは勝利する)

韓国女子労働者のその後

アジアの女たちからのメッセージ

フィリピン・タイ・台湾・韓国  
インドネシア・マレーシア・インド

労基法とアジア

インタビュー タイの女性解放活動家

わたしたちの運動から

買春観光・政治犯・国籍法・意識変革

女性差別・民族抑圧からの解放をめざして！

# 私たちの決意——結成二周年集会で

アジアの国々への侵略に加担すまいという決意をこめて「アジアの女たちの会」を発足させてから丸二年——私たちは、アジアの女たちが置かれている状況と闘いについて学び、知らせる努力を続けてきました。

今、アジアは新たな激動の時代を迎え、日本のあり方が一層きびしく問われ、私たち日本人の生き方も問われています。日系企業のあくなき海外進出、それに伴う公害輸出や天然資源の収奪など、利潤を求めて手段を選ばぬ経済侵略が、アジアの民衆に苦しみをもたらしているからです。とりわけ、アジア各国の女たちは低賃金労働力として搾取され、彼女たちの苛酷な労働によってつくり出された血と汗と涙の結晶が、安価な製品として日本の市場にあふれているという現実があります。経済大国日本の犠牲となっている彼女たちの苦痛と屈辱に、私たちは目をつむるわけにはいきません。

さらに、韓国・台湾・東南アジア各国へ集団で旅立つ日本人男性観光客の数は、私たちの買春観光反対の声をかき消すかのように、むしろふえ続け、アジアの女たちの憤激を買っています。三里塚の農民の土地を奪った成田空港が強行開港されたのも、こうした大量の観光客を送り出すためにほかなりません。

こうした経済的・性的な海外進出を支えるべく、国内では天皇を頂点とする精神的な支配構造を強化する右傾化の動きが強まり、あくなき商業主義が生活・文化のあらゆる面を支配しています。女性に対する差別抑圧は、労基法改悪問題をはじめ、改められるどころか、かえって強まっています。

このような「外には侵略、内には抑圧」という構造は、過去一世紀日本が押し進めてきた「近代化」と「経済成長」につきまとうてきたものであり、そのために私たちは、アジアの民衆と引き裂かれてきました。その亀裂は、今一段と深くなりつつあります。私たち日本の女は、国内では女であるがゆえに差別抑圧を受け、同時に外に対しては加害者のひとりであることを余儀なくされているからです。国内でわが手に受ける抑圧をはねのけ、アジアへの侵略を押しとどめる二つの闘いは一つの闘いであると思います、私たちは、アジアの国々の女たちとつながりたい、きずなを深めたいという願いを、より一層強く感じています。

今アジアで飢えに苦しむ母たち、拷問にも投獄にもめげず闘う女たちに思いをはせながら、私たちの八十年代を創り出すために、決意を新たに、三年目の歩みを踏み出したいと思います。

一九七九年三月十日

## アジアの女たちの会

## アジア女性解放のつどい



79.3.10

「アジアの女たちの会」二周年記念

明日、耕やす土地を求めて闘うタイの農婦の歌が聞こえないか？

今日、住む家を守るため闘うフィリピンのスラムの母親の歌が聞こえないか？

労働者の権利と、人間の尊厳を求めて闘う韓国の女子労働者の歌が聞こえないか？

自由と正義のために闘い、鉄窓につながれているインドネシアの女性政治犯の歌が聞こえないか？

工場排水で海を汚染され、怒り立ち上がったマレーシアの漁民の女たちの歌が聞こえないか？

アジアのジャングルの中から民族解放のため立ち上がった女戦士たちの歌が聞こえてこないか？

私たちに、彼女たちの歌が聞こえなかなければならない——

歌を断ち切ろうとするアジアと日本の構造的ありようによって——

歌を聞き消そうとするマスコミの騒音によって——

また私たちがぬくぬくとした生活に安住して、聞く耳をもたないことによって——

三月八日は国際婦人デーである。この日を記念し、私たちはあらゆる壁をのりこえて、ともに彼女たちの歌をうたいたい。そして、彼女たちに学び、私たち日本の女も私たち自身に闘いの歌をうたいたい。

### アジア女性解放のつどいプログラム

第一部 歌・詩・スライドによるアジアの女たちからのメッセージ

歌 合唱・フィリピン「母の歌」、タイ「白い鳩」指導 安田恭子 独唱・韓国「ほうせん歌」、日本「茨木のり子詩集より」歌・青木とも子、作曲・吉岡しげ美

詩 「富士川右岸河川敷地図」(小川アンナ詩集より)朗読・桐谷夏子  
スライドと報告

タイ——スリンの農婦ブンレアンさんに死刑判決 不破真理、台湾——低賃金地帯の女子労働者の現状を訴える 清水恵美子、インド・フィリピン——闘う女たち 加地永都子、マレーシア・インドネシア——詩朗読 緑朱まこと 小林寧子、韓国——韓国民主化闘争山口明子

第二部 集団創作劇「ウリ スンニ ハリラ」(われらは勝利する)——韓国東一紡織の女子労働者の闘いから——

第三部 私たちの運動から

なぜ私たちはアジアとかかわるのか 松井やより、買春観光を許さない 高里鈴代、人権抑圧、政治犯の断崖から 佐々木雅子、日本の中のアジア人 石田玲子、今こそ意識変革を！ 富山妙子

宣言朗読——高城たか、司会・五島昌子、内海愛子 総合進行・坂本良江、池田廣雄、音楽・吉岡しげ美、演出・宮崎節子、桐谷夏子、美術・富山妙子、山下英愛、関静

「アジアの女たちの会」二周年記念



タイからの報告  
農婦ブンレアンさんに死刑判決

一九七六年六月二十三日、カンボジア国境に近い東北タイのスリン県スリコラプム地区ランゲエン村の村長の家を三十人の警察が急襲した。銃撃があり、警察の指揮官と三人の警官が死傷し、四人が逮捕された。逮捕された四人のうちの一人、ベンシイさんという女性はスリンの町に連行される途中で、拷問されて殺された。他の三人は、スリン県の中央刑務所に拘留され、銃の不法所持と公務中の政府官吏を計画的に殺害した罪で告発され、警察の取り調べに三人は自白したと言われる。一九七七年七月、第一審で三人は死刑判決を受け、一九七八年六月の控訴審で死刑が確定した。七月、三人は最高裁に上告している。

この三人とは、ブンレアン・スリ

## 第一部

# アジアの女たちからのメッセージ

ウドムさん(23才女)、トンチャン・スリヌアンさん(23才男)とサーウ・サーウケウさん(23才男)である。三人ともスリンの農民で、ブンレアンとトンチャンは夫婦である。ブンレアンさんは、逮捕当時妊娠しており、獄中で女児を出産した。彼女の拘留されているヤートラオ女性刑務所は、収容定員八百名にもかかわらず、今は千二百人も収容されており、びっしりで寝返りもできないほどという。そういう刑務所の中で、彼女は赤ん坊を育ててきたが、赤ん坊が病気になる、支援グループがミルクを差し入れても当局に拒否されるといった状態で、やむなく赤ん坊を外に出す決心をした。彼女の夫、トンチャンは、結核に罹っていると言われているが、バンクアン中央刑務所の9m×5mの房に十四名の囚人とともに一日中鎖でつながれている。サーウは、同じ刑務所に収容されているが

拷問でひどく打たれ、片方の目がかすみ、時々痛む上、警官に撃たれた目の上の骨も痛むと伝えられる。彼ら三人が最高裁へ上告した文書によると、三人は警察の取り調べ中たえられないほど様々な方法で拷問され、自白を強制されたという。彼らの国選弁護人は、拷問によつて自白した事実を明らかにしようとするどころか、法廷でも一度同じ自白をするよう三人に示唆した。彼ら三人は、この国選弁護人の不当な行動を調査するよう弁護士会に訴えている。ところが、またも新しい弁護士が、三人の最高裁への上告を出し忘れ、受理が拒否されるという事件がおこった。もし最高裁がこの件の審問を受理しないと、拷問による自白もについた控訴審の判決に従つて刑が執行される。現在三人の命を守るため、タイ当局へ海外からも手紙や電報を送るようタイから要請がきてい

る。このスリンの三人のケースに海外からも注目がそがれており、当局がこの件を簡単に葬り去つてしまわないようにすることが必要である。

一九七六年十月六日の血の水曜日逮捕された被告達は、国際的にも知られ、支援もあつた。しかし、昨年九月、彼ら十八人が釈放されて以来、タイには最早政治犯はいないかのような国際的イメージがふりまかれている。実際には、ブンレアンさん達のような全く無名の村民や農民達が受難にあつている。このスリンの三人のケースは、全くそうした数えきれないほどある事件の氷山の一角にすぎない。特にゲリラ浸透地域といわれる東北タイ、南部タイにおいて、共産主義者狩りに名をかりてこうした事件が頻発している。「共産主義容疑者」社会にとつて危険な人物」の容疑で逮捕され、行方不明になっている村民は、その正確な数がつかめないほど多い。

ところで、このような人権弾圧を行つているタイのクリアンサク首相は、今年の一月十六日から十九日にかけて来日した。十八日に発表された共同声明によると、日本はタイに対する第六次円借款三百二十億円に加えて、タイ東北部と南部の「新農村開発計画」用に二年間で百四十億円を追加する約束をした。一月十

九日付の朝日新聞によると「これはカンボジアでの親ベトナム政権誕生で、ベトナムの『次の目標』がタイに向けられていることを強く警戒していることを背景に、タイの国内安定にわが国の積極的な協力の姿勢をみせたものである。」と報じている。また、二月十五日付のタイ情報センタースタートは、この開発計画と関連して、新しい反共法が発効したと報じている。

タイの辺境スリンでおきたブンレアンさんの事件は私達からはるか遠く、一見何の関係もないように思われるが、彼女と私達は構造的に関連づけられており、私達が全く知らない間に彼女達の人権を弾圧する側に立たされていることを知った今、私達は、行動をおこしていかなければならない。

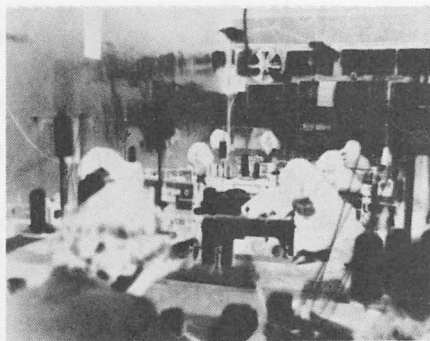
タイ当局へ電報を打とう。  
(不破真理)

## 台湾の女たちの現状 低賃金地帯の女子労働者

厳しい言論統制の下にある今の台湾では、選挙の時にしか声をあげられないので、選挙のたびに自由を求める民主化の渦が湧き上がりますが、そのたびに国家反乱罪・スパイ罪とかのデッチあげ事件が作りあげられて、候補者・運動員・応援者、ひど

い時にはそれらの人と知りあいだったというだけで政治犯が捏造され、現在は八千人はいらるだろうと言われている。昨年の暮、国会議員の補充選挙が行われることになり、無党派の闘いが盛り上がり、政府も押えきれない程になりましたが、米台国交断絶を理由に、一方的に選挙は無期延期になりました。そして選挙が中止になるや、無党派派の中心人物であった七十なかばを越える元高雄県知事を二十一年前の朝日新聞のコピーを持つていたというだけで共産主義者だと決めつけて逮捕し、八年の実刑判決が出ました。

五十年にわたり日帝の植民地であったこと、戦争末期における蒋介石と日本の軍閥政権との関係などにより、いわゆる台湾ロビーなるものが出来あがり、今日の黒い癒着といわれる日台関係を作っています。日本の台湾への企業進出は五十年末から始まりました。安い労働力、また輸出加工区においては最初の五年間は免税、公害問題は無視するというような蔣政権の外資導入に対する恩典に支えられて続々と台湾への進出が行われています。加工区で働く労働者のうち八十%近くを家計補助のために働く十代の若い女子労働者が占めており、最低賃金制度は有って無きに等しく、外資優遇策等により、労



台湾の紡績工場で働く女子労働者

働者は無権利状態に置かれ、長時間・夜間労働、景気の変動などによる解雇など、企業の思うがままに出来るようになっていきます。自動車は排気ガス規制がないため、街はスモッグでうす汚れ、七二年にはミツミ電機の工場で、有毒ガスによる事故が起こり、五人の女子労働者が死亡しています。この事件は闇に葬られそのうになりましたが、一女子労働者の父親が訴え出て、新聞に取りあげられたため、三十万円の補償金が支払われたそうです。サリドマイド児も産まれていますし、未確認ですが、森永のヒ素ミルクの被害者も出ているようです。

労働組合は産業別労組がありますが、政府が作らせた、労働者を管理するためのものであり、また外資系に対しては、組合を使って残業拒否な

どをさせ、その資本をコントロールするという役目もしています。もちろん、労働争議が出来る状態ではなく、万一、労働者が起ち上がっても、戒厳令により銃殺にさえつながります。

大会社の下請けの小さな町工場では、八才ぐらいからの幼い子供が、衛生状態が悪く、安全性の乏しい、ひどいところは、トイレにドアーをつけず中が丸見えにして用足しさえ自由にさせない工場で、一人前の労働者として働いています。今年から台湾における最低賃金は、日本円でだいたい一万二千元と決められましたが、法律上十五才未満の雇用は認められていないため、この子供たちはそれ以下の賃金で働かされています。一般に、小企業では出来高制であるため、長時間労働・夜間労働は普通になっています。例えばYKKファスナーの下請け工場では、一時間平均四二円、一日四百円、一カ月日曜日もなく働いて一万二千元。熟練工でさえ一カ月休みなく働いて一万五千元です。十八、九才の女子労働者が二十人位働いている被服工場では、一日平均十時間、時には二十四時間ぶつ通しで働き、休みは月二回で給料は平均一万五千元です。大卒の初任給は最低二万円、一人でアパート住まいをして普通にくらすには

一カ月少なくとも二万〜二万五千元は必要だということであり、小企業の労働者たちがいかに低賃金で働かされているかがわかります。このためにこのような状況から抜け出し、少しでもましな生活をしたいと売春婦になつて行く者もあるわけです。

月給制の会社には皆勤賞制度が多く施行されています。ただし、一分の遅刻も許されないため、貧しい労働者たちは皆勤賞をもらおうと必死なので、出勤時のラッシュはさまざま、社会問題にまでなっています。有給休暇、生休は無いのと同じです。ある日系企業では一年以上勤めると年間七日、三年以上だと十日間の病気、勤務中の事故のための休暇がありますが、一日休むと半日分の給料が差し引かれます。これでも、かなりめづまれている方なのです。

戒厳令下、隣組のようなものまであり、何人に一人は国民党の犬だといわれるほどがっちり統治され、政府から睨まれると四・六時中特務に付き纏われる台湾では、民族自治・言論思想の自由などを求める民主化運動に生命がけで闘うのに精一杯で、底辺にうごめく低賃金労働者、性を売らねばならない女たちのところまで手が届かないというのが実情のようです。また国民一人一人に身分証明書が出され、これに学歴まで

明記され、工場では女工としては学歴のあるものは雇用しないので、知的水準の高い女性たちと女子労働者たちとの間は厚い壁で遮られており、韓国における労働教室のような道も今は閉ざされているのです。

(清水恵美子)

## インド・フィリピンからの報告 闘う女たち

フィリピンの報告をするつもりで準備していましたが、ちょうど「アジアの女たちの会」の会員でもある山鹿順子さんが、アジアの漁業問題の調査に行っています。そして、インドからの報告が届きましたので、それを、お伝えしたいと思います。

二月の終りに、インドのゴアという所で、インドの漁民の女たちが自分たちの漁業権、漁を取る権利を守ってほしい、これ以上、今のような状態は続けられないということをや叫んで、デモをしています。インドには、今、五〇〇万人〜六〇〇万人の漁民がいるといわれています。そして、魚は、インドの人たちの、重要な蛋白源となっています。

ゴアの漁民たちは、ふつう「ダンコンカー」といわれています。ダンコンとは網で、カーは人々、このようによばれていることからわかるように、みんなで共同して大きな網

を作つて魚を取り、沿岸漁業をやっているのです。この人たちの漁場で、最近、魚がとれなくなっている。それはなぜかというところ、トロール船が入ってきているからです。一九五九年には、たった四隻しかいなかったトロール船が、今では、四〇〇隻以上になつています。女の人たちは、魚を取ることも含めて、取った魚を大きなかごに入れて、網のせて、町に売りに行く、みんな女の仕事になつています。こういう、魚がとれなくなつた、そして生活ができなくなつた、という状況に対して、ゴアの漁民たちはここ数年、さまざまな闘いを続けてきました。

ほんとうに長い間、ハンガーストライキや、デモや、合法的な闘争を続けてきたのだけれど、もう、これ以上、何もできなくなるということで、実行行使に立ちあがつたのが、今年の二月でした。いい忘れましたが、トロール船がふえた主な理由は、エビの漁業です。エビというのは、ほとんどが輸出で、私たち日本人が食べているわけですが、そのために、非常にもうかる、お金になるので、現地の資本家や企業が、こぞつてトロール船を買いこんだために、彼女たちは魚がとれなくなつたのです。

二月の一七日に、ついにトロール

## 【詩二篇】

勇敢な女たち

ハルトヨ・アンダンジャヤ

(インドネシア)

朝暗いうちに籠を運ぶ女たち、彼女らはどこから来るのか

彼女らは山の村々から鉄道の駅へやつてくる

朝一番の汽笛が目ざめるまえに  
一日が労働の宴のうちに始まるまえに

朝暗いうちに汽車の中に籠を持ち込む女たち、彼女らはどこへ行くのか

彼女らは鋼鉄の車輛の上に乗る  
彼女らは太陽と競つて都市の門をめざし

街の市場で生活を争奪する

朝暗いうちに籠を運ぶ女たち、彼女らはたれなのか

彼女らは鋼の心を持ったおばさんたち、勇敢な女たち

山の麓から街へ這い下りてくる木の根たち

彼女ら。それは村ごとに行動し生活する愛。

(舟知恵訳 現代インドネシア詩集、  
『恋人は遠い島に』より)

船二隻を焼き打ちにするという事件

がおこつた、そこに私たちの仲間の一人が行つて、その状況を伝えようと送つてきたのが、ここに紹介しているスライドです。私たちが、今、ゴアの漁民の女たちの闘いを紹介したのも、今、こうした闘いが、アジアの各地で広がっている、ということとを私たちは、もう一度、この集会で学びたいと思うからです。工業化の名のもとで、生活を奪われ、土地を奪われる民衆、女たちは、もう黙っていないのです。各地で立ちあがっているのです。

昨年、一九七八年の国際婦人デーにも、アジアの各地で、いろいろな集会がもたれました。そして、昨年の国際婦人デーにもたれた集会の一つに、フィリピンの女たちからのメッセージが届きましたが、私たちは、昨年、「アジアの女たちの会」の名前で、このような集会を持つことが、できませんでした。そして今年、この集会でその時に届いたフィリピンからのメッセージの一部を御紹介したいと思います。

資源を先進工業国に供給し、国民経済の成長は、圧倒的力を持つ多国籍企業によっておさえられている被植民地主義国では、国民の大半は農業で生活をたてています。フィリピンの人口、四一〇〇万人のうちの約

七〇%が農村に住み、その半分が女性です。しかし、そのほとんどの人が、自分がたがやす土地の所有者ではない、土地なき農民、あるいは、さとうきび農場、バナナ農園で働く農業労働者です。

最近では、多国籍企業が経営する企業農業も広がっています。フィリピンの「バリオス」ということばから想起する、素朴で平和な牧歌的なイメージとはほど遠く、フィリピンの村の女たちは、飢え、病い、栄養不良と、日々闘っているのです。フィリピンの村の女たちに対する最も不当なあつかいは、どの国勢調査や統計のなかでも、彼女たちが、労働力として数に入れられていないという事実でありましょう。夫や息子たちが、農民として記載されても、女たちの、村の経済をたすけている事実は、全く無視されているのです。しかし、女たちは、村の中であらゆる重労働にたずさわっていることはいうまでもありません。

農村における抑圧的状况は、何百万の女たちを都会へと追いたてます。ここでも女たちは、新たな抑圧に出会ふのです。スラム、売春、工場での搾取が、女たちを待っています。仕事の口がないために、女たちはやむなく、同じく農村から来た男たちよりも、安く自らの労働力を売らなく

てはなりません。最も単純な仕事しか与えられず、保障もなく、人員整理の時は、まづ先に首をきられるのです。資本家は、女たちを、全くフルに利用できるというわけですから。低賃金でこきつかうことによって、そして、ストライキがおこればスト破りとして動員することによって。

フィリピンの女性運動は、誰の目にも広がりがつある現象です。今のうちに、表現の自由も、自ら組織する自由も、極度に制限されている状況のもとでは、女性の運動も、明確な運動方針をかげて実施することはできませんけれど、多くの女たちが、真の社会変革、根本的な変革をめざして闘っています。フィリピンの女性たちが真の社会参加を達成する道は、世の大半をしめる農民、労働者の要求をたかくかかげて闘うこととしかありません。(加地永都子)



クアラ・ジュルー ある村の死

セシル・ラジェンドラ

(マレーシア)

川よ

工業化を急ぐあまり

喉をしめあげられ

死んでゆく川

だれもみとろうとしない

川の魚よ

進歩の吐き出すヘドに

毒され

死んでゆく魚

だれもみとろうとしない

川の魚を

ついでにばむ鳥よ

進歩がタレ流す排泄物に

毒され

死んでゆく鳥

だれもみとろうとしない

そして

かつては誇り高かつた村よ

何世紀も

この川の豊かさに

支えられてきた村は

今死んでゆく

だれもみとろうとしない

(松井より訳)

⑧マレーシアのペナンは「東洋の真珠」と呼ばれる美しい島ですが、数年前、東レ・カネボウ・日本農業などの日本企業が進出して、排水で海や川を汚しました。このため対岸のクアラ・ジュルーでは魚がとれなくなつて、貧しさのどん底につき落されました。

## 第Ⅱ部 集団創作劇

# ウリ・スンニ・ハリラ

(われらは勝利する)

韓国東一紡織の女子  
労働者の闘いから

準備OK



立派になったわね私のオーバー



稽古の合間に小道具を作る



八〇年代ソング音合せ



ハン教授のせりふはあなたの後



前後半、大道具製作



入念な打ち合せ



リハーサルするたびに泣けて…



逃げまじい組み伏される女工たち

女のくせに何をしゃがる?

膝をかかめて生きるより立ったまま死のう

幕のあとシノット神父が舞台上に

## 登場人物

- 第一幕第一場 工場内、朝礼  
権力側の人間、女工たち全員
- 第一幕第二場 工場内、現場の暴力  
女工1、2、3 (チュ・キルジャ)、  
5、6  
新参女工A、C (リ・チョンガク)
- 職制二人 舎監
- 第二幕 寄宿舎  
初期的疑問の結集→自らの組合活動開始への過程  
女工1、2、3、4、5、6  
女工A、C  
舎監 パクボンネ  
人事部長 職制二人
- 第三幕 事実経過報告  
一九七二〜七六年七月二十五日  
ナレーター
- 第四幕 権力の入室  
日韓癒着の構造、韓国の大状況  
お山の閣下  
一丁目の繊維労組の閣下 (キムヨンテ)
- 二丁目の鉄鉦の閣下  
三丁目の労総の閣下 (チュングドングホ)
- 四丁目のKCIAの閣下  
五丁目の美人  
軍人の閣下
- 会社上役  
四丁目の閣下の子分  
組織行動隊員
- 第五幕第一場 糞尿事件  
女工A、B、C (リ・チョンガク)  
支部長候補D、E、F、G  
女工たち  
組織行動隊員 警官  
パクボンネ (会社側の傀儡 支部長候補)  
繊維の閣下 (キムヨンテ)
- 第五幕第二場 体育館事件  
チュングドングホ (労総の閣下)  
ホンチョング (元KCIA)  
キムヨンテ (繊維の閣下)  
女工全員  
組織行動隊員
- 第六幕 産業宣教会一室 ハンスト  
女工10、11、12、13、14、15、16、  
17  
女工全員  
チョーファスン牧師  
ハン教授  
詩人高銀 (コ・ウン)  
ナレーター



判るかね、娘さん



これを飲んでせつせと働け

## 第一幕第一場 工場内、朝礼

舞台中央に指揮台。その前に整列する権力側の人間、女工たち。指揮棒を持った男登場、指揮台に立つ。全員最敬礼。指揮棒が振りおろされる。音楽(M<sub>1</sub>八〇年代ソング)

権力側 一九八〇年 ある晴れた朝!! 我国は輸出百億ドル 国の外と商いして 国の内に金がたまる 判るかね 娘さん 水桶に水があふれると あふれた水はどこへ行く それは君たちの ふところへ

女工たち 朝も 昼も 夜も 働きます 羊のように おとなしく牛のように まめに

権力側 君たちのふところに一〇〇ドル 土曜の夜には映画に行つて 日曜日にはドライブを 今度は働くことだ 娘さん あふれた水は水桶から 桶の水はどこから来る それは国の外から ところで我らは何を売る 国の外は物だらけ 国の内は人がいる

権力側 君たちは花

女工たち 私たちは花

権力側 へむくげのつぼみ

女工たち へむくげのつぼみ

権力側 へ東一女工は 会社を愛す

女工たち へ東一女工は 会社を愛す

女工2 月に一度のこの日は立っているだけでも辛い。生理中はせめて夜番からはずして欲しい。でも誰に言えはいいの? ねえ?

女工5 (右手と左手に薬をもち) これは労働促進剤タイミニング、夜番の眠けさまし。だけどこれ飲むと仕事が終わる朝眠れない。すると今度はこつち、強力睡眠剤セコナルが要る。体が変になるのもあたりまえじゃないか。

女工A 私の田舎では牛や馬さえ休ませながら働かせている。女工6 私はみんなより給料が安い。国民学校しか出ていないのです。でも本当は上の学校に行きたかった。女工C 私も上の学校に行きたかった。でも私が働かなくては家族に食べさせることもできない。貧乏は運命なの?

女工たち 互いの顔を見合う

女工3 私たちは空きつ腹を一度も満たしたことがなかった。女工6 休みなく働いて給料はスズメの涙。女工たち なぜ? なぜ? なぜ? 女工4 私たちは機械に合わせて夜

## 第二幕第一場 工場内、現場の暴力

権力側の人間、職制を残して退場。

職制 作業開始!!

女工たちは一斉に作業を開始する。

職制 二人、女工たちを監視。新参

女工A、C、舎監から職制に引き渡される。(バックに機械音流れる) 女工1咳の発作、手元が狂う。職制、即とんできて罵声。

職制 八〇年!!

女工1 国民総和!!

職制 よし!

女工たち居眠り、職制、即とんできて殴りつける。

職制 そんなに眠たいか。だったらいいものをやろうな。これはな、閣下自ら御調合の労働促進剤タイミニングだ。ありがたく頂け。眠気なんかふつとぶぞ。これを飲んでせつせと働け。薬代は給料日でいいよ。八〇年!!

女工5 国民総和!!

女工2 卒倒する。職制、バケツの水をぶっかける。

女工3 大丈夫かい? 二日目が一番ひどいんだろ?

職制、罵声。

職制 八〇年!!

女工2 国民総和。

女工5 私たちはぐつすり眠ったことがない。

女工たち なぜ? なぜ? なぜ?

女工1 今ある全ての苦痛は運命なの!!

女工全員 今ある全ての苦痛は運命なの!! 羊のようにおとなしく、牛のようにまめに、運命に従って働きさえすれば、今ある問題は解決されるのか? 八〇年になれば解決されるのか?

舎監、バクボンネ、登場

女工5 私たちはぐつすり眠ったことがない。

女工たち なぜ? なぜ? なぜ?

女工1 今ある全ての苦痛は運命なの!!

女工全員 今ある全ての苦痛は運命なの!! 羊のようにおとなしく、牛のようにまめに、運命に従って働きさえすれば、今ある問題は解決されるのか? 八〇年になれば解決されるのか?

女工2 国民総和。

女工5 私たちはぐつすり眠ったことがない。

女工たち なぜ? なぜ? なぜ?

女工1 今ある全ての苦痛は運命なの!!

女工全員 今ある全ての苦痛は運命なの!! 羊のようにおとなしく、牛のようにまめに、運命に従って働きさえすれば、今ある問題は解決されるのか? 八〇年になれば解決されるのか?

女工2 国民総和。

女工5 私たちはぐつすり眠ったことがない。

女工たち なぜ? なぜ? なぜ?

女工1 今ある全ての苦痛は運命なの!!

女工全員 今ある全ての苦痛は運命なの!! 羊のようにおとなしく、牛のようにまめに、運命に従って働きさえすれば、今ある問題は解決されるのか? 八〇年になれば解決されるのか?

女工2 国民総和。

女工5 私たちはぐつすり眠ったことがない。

女工たち なぜ? なぜ? なぜ?

女工1 今ある全ての苦痛は運命なの!!

女工全員 今ある全ての苦痛は運命なの!! 羊のようにおとなしく、牛のようにまめに、運命に従って働きさえすれば、今ある問題は解決されるのか? 八〇年になれば解決されるのか?

女工2 国民総和。

女工5 私たちはぐつすり眠ったことがない。

女工たち なぜ? なぜ? なぜ?

女工1 今ある全ての苦痛は運命なの!!

女工全員 今ある全ての苦痛は運命なの!! 羊のようにおとなしく、牛のようにまめに、運命に従って働きさえすれば、今ある問題は解決されるのか? 八〇年になれば解決されるのか?

女工2 国民総和。

女工5 私たちはぐつすり眠ったことがない。

女工たち なぜ? なぜ? なぜ?

女工1 今ある全ての苦痛は運命なの!!

女工全員 今ある全ての苦痛は運命なの!! 羊のようにおとなしく、牛のようにまめに、運命に従って働きさえすれば、今ある問題は解決されるのか? 八〇年になれば解決されるのか?

女工2 国民総和。

女工5 私たちはぐつすり眠ったことがない。

女工たち なぜ? なぜ? なぜ?

女工1 今ある全ての苦痛は運命なの!!

女工全員 今ある全ての苦痛は運命なの!! 羊のようにおとなしく、牛のようにまめに、運命に従って働きさえすれば、今ある問題は解決されるのか? 八〇年になれば解決されるのか?



私ね産業教会で漢字の勉強してんの



手を握ってみると力が入りません

女工たちは客席に降りてピラをまく



下手に出ればいい気になりやがって



**第三幕 一九七二〜一九七六**  
**事実経過(バックに「さあみなで」の音楽)**  
(女工のひとり)  
ナレーション こうして、一九七二年韓国の女性支部長と執行部で構成された繊維労働組合東一支部が結成された。彼女たちは勤務基準法に基づく工場現場、寄宿舎および労働条件の改善を要求した。これに対して会社側は出勤停止処分、重労働への配置転換の弾圧を強化した。七五年二月、会社は暴力的に代議員選挙を妨害したが、彼女たちは再び女性支部長を選出。この間の闘いを通し、寄宿舎は改善され、職制の暴力にも泣き寝入りをしなくなった。(ドラムの音入る。次第に大きく。間けつ的にドラム音だけ) 会社側は男子職制を中心にした第二組合を結成し、女性執行部排除の攻撃を開始した。七六年七月二十二日、彼女たちが労働条件の改善要求を討論するため食堂に集まると、突然電灯が消され、集会所が妨害された。会社側は第二組合を準備し、その集会参加を呼びかけたが、彼女たちは支部長らの釈放を要求しストライキに入った。支部長らはいったん釈放されたが再び連行され、彼女たちは工場内に籠城してハンストを打った。警官、警備員、社員の暴力に抗し、

あるいはタイヤの下にとびこんで護送車をストップさせ、あるいは裸になって反撃した。  
このような凄絶な闘いは東一紡織だけでなく、様々な労働現場で展開された。邦林紡績女子労働者の八億円未払い賃金要求闘争、仁善社の生理休暇闘争、ナムヤンナイロンの賃金闘争。そして、これらの闘いは労働教室閉鎖に対する李小仙オモニ奪還闘争に引き継がれた。労働者の人権と民主主義を要求する労働運動は、七七年三月十日「労働者人権宣言」、十二月二十三日「韓国労働者人権憲章」をつくり出した。  
この間客席に降りた女工たちは七七年三月十日の「労働者人権宣言」並びに十二月二十三日の「韓国労働者人権憲章」を印刷したピラを配っている。

#### 第四幕 権力の一室

六人の閣下——一丁目の繊維労組の閣下、二丁目の鉄鉦の閣下、三丁目の労総の閣下、四丁目のKCIAの閣下、五丁目の「美人」らなにごとを顔を寄せて話している。一人離れたところに「お山の閣下」が座っている。  
会社の上役ピラを手にあたふたと  
かけ込んで来る  
**会社上役** 大変です！ 一丁目の繊維労組の閣下！こんなピラが街中にばらまかれております。  
**一丁目の閣下** 「労働者人権宣言」「韓国労働者人権憲章」。なんだこれは！君！去年の七月で東一の大掃除は終わったはずじゃないのか！  
**四丁目の閣下** これはアーメンのアカが作ったやつだな！二丁目の鉄鉦の閣下、あんたも、ばやばやしちやいられないでしようが。  
**二丁目の閣下** 一丁目の閣下、あんたこの大火事がうちの方に飛び火して、一体どうしてくれるんです。明日のクリスマス・パーティーには、玄海灘を越えて大事なお客さまがやって来るというのに。  
(もはや泣き声)  
と、お山の閣下の顔色、急に赤くなる  
**五丁目の「美人」** キャー！お顔が。全員 カッカ！おまかせ下さい。  
この処置は力づくでも。  
**三丁目の閣下** そうだ！  
全員 なにか名案がありますか、三丁目の閣下。  
**三丁目の閣下** 強力殺虫剤を開発しよう。アカのゴキブリ退治には、国民総和、御町内の一致団結を、全員 韓国全土に殺虫剤をばらまこ

#### さあ みんなで



ちゃんと書いてあるの。  
**女工全員** 勤務基準法？  
**女工C** そんなにいい法律があるのに、どうして守られていないの？  
**女工3** それはね、私たちが今までまとまってあいつらに言わなかったからよ。  
**女工1** そうか。私たちがバラバラだから、あの職制の野郎に好きなようにやられるんだ。  
**女工A** でも、どうしたらいいだろう？  
**女工3** 私たちの手で私たちの労働組合をつくるのよ。  
**女工たち** えっ？労働組合？  
**女工5** 労働組合なんて男がやるもんでしょ？  
**女工3** 労働組合を男に任せておいたら、私たちの問題はいつになっても解決しないわ。  
**女工2** 男の組合幹部は私たちの立場で考えてはくれないもの。  
**女工6** ろくに仕事もしないくせに給料は私たちの倍以上じゃない？  
**女工たち** そうよ。(又は)そうだ！  
**女工たち立ちあがり手をつなぐ**  
**女工3** 私には二つの目  
**女工たち** 十人が手をつなぐと、二十の目  
M<sub>2</sub>「さあ みんなで」  
女工たち、スクラムを組み会社側に交渉に行く  
**ナレーション** 一九七二年、東一紡織では、はじめての女性組合委員長チュ・キルジャを選出した。  
人事部長、職制二人を引き連れ手に登場  
**女工3** 生理休暇 日曜休暇を実施して下さい。  
**女工2** 工場に換気扇をつけて下さい。  
**女工C** トイレに行く時間を下さい。  
**女工4** 食事時間を下さい。  
**女工5** 八時間労働を守って下さい。  
**女工A** 職制の暴力をやめて下さい。  
**女工6** 時間外の無償労働をさせないで下さい。  
**人事部長** なぜ金を稼ぐのが嫌なのかね？休暇が必要？なるほど。だが故郷の両親は兄弟は、君の送金を首を長くして待っているんじゃないのかね？年次休暇、生理休暇、週休を取ると稼ぐ時間は全くなくなるぞ。それに聞いたか、日本ではなんでも男女平等をはかるために女性の生理休暇を撤廃しようという動きがあるらしい。さすが先進国だなあ。我々も絶対、見習わなければいけないなあ。それに我が働くのは、国全体の問題だ。輸出目標百億ドルをいかに達成するかね？休暇が必要？なるほど。だが故郷の両親は兄弟は、君の送金を首を長くして待っているんじゃないのかね？年次休暇、生理休暇、週休を取ると稼ぐ時間は全くなくなるぞ。それに聞いたか、日本ではなんでも男女平等をはかるために女性の生理休暇を撤廃しようという動きがあるらしい。さすが先進国だなあ。我々も絶対、見習わなければいけないなあ。それに我が働くのは、国全体の問題だ。輸出目標百億ドルをいかに達成するかね、ね、そこを覚えて耐えがたきを耐えてくれたまえ。わかったね、よろしく頼む。  
**女工たち** 生理休暇 日曜休暇を実施せよ！  
寄宿舎を改善せよ！  
八時間労働を実施せよ！  
職制は暴力をやめろ！  
深夜業を撤廃せよ！  
残業手当を支給せよ！  
**人事部長** 下手に出ればいい気になりやがって！(女工3キルジャに向って)チュ・キルジャ！お前だろう、煽動したのは。こいつだろう、入社するとき十五のくせに十八と年を三つもいつわって入ったのは。辞表を出せ、辞表を！よしお前二人は明日から運搬工だ、覚悟しろよ！お前ら三人はなあ、毎日機械の掃除だ！いいか、おとなしくしろよ。お前らがアカになつたって、親たちに手紙を書くかな、よく覚えとけ！輸出目標が達成できなくなるくらいならお前らブツ殺した方が国のためになるんだ！わかったか！  
**女工全員** (人事部長に向って)勤務基準法！！  
(観客席に向って)  
最低賃金制度を確立せよ！団結権、団体交渉権、団体行動権——労働三権を保障せよ！！



キーセン観光の近代化にはげむわ

う。東一工場の壁の中、パンリムの天井裏、平和市場のミシンの陰、特に都市産業宣教会だ。徹底的にばらまけ!!

**四丁目の閣下** そのキャンペーンは、KCIAの私に任せを、掃除がすむまでピンク作戦。日本のお客様のお相手をしなさい。

**五丁目の「美人」** ハーイ!

Teacher's pet I want to be teacher's pet I want to be....

御気嫌なおったみたい——。

**二丁目の閣下** それから御歳暮、日本のお先生方に航空便で成田に金庫ごと届けろ!

そこにピーカーを片手に軍人の閣下登場

**軍人の閣下** 遅くなりました。国力培養、この通り着々と成果があがっております。戒厳令の効き目はバツグン。八〇年代韓国の自由は、軍隊の近代化が担っております。

**二丁目の閣下** 私のところでは、日本の企業から翼の注文を受けましたよ。



そつだノ労働規約改正だノ

**五丁目の「美人」** 私のところでも、日本からの修学旅行団の先生お相手に、ベッド体操の花ざかり。キーセン観光の近代化にはげむわ。

**四丁目の閣下** それに比べて繊維の閣下。日本じゃ、中国製のパジャ

マや、パンティが流行っているそうじゃないですか。

**一丁目の閣下** それもこれも、労総

の閣下、あなたの不手際だ。(泣き声) そうだ、使い捨てパンティをワコール、グンゼに提案しよう、日本女性の下着はメイドインコリアで埋めつくせ、そうすれば大もうけまちがいなし!

よし、女工の給料をピンハネしよう!

**全員** ピンハネしよう!!

**一丁目の閣下** 機械のスピードをあ

げろ!

**全員** あげろ!

**一丁目の閣下** 女工の数は減らせ!

**全員** 減らせ!

**一丁目の閣下** そうすれば、より安い使い捨てパンティができれば、これが繊維産業の八〇年近代化なのだ!!

**三丁目の閣下** 労働三権は断固認めさせてはいけないうてわけですな。お任せ下さい。

**四丁目の閣下の子分登場**

**子分** カッカノ日本とアメリカが中国との国交樹立をカクサク中との情報が入りました。

お山の閣下、まっ青。

**五丁目の「美人」** キャー! お顔が軍人の閣下 国境警備だノ内陸部だ



このバカヤロー!これでも食ええ!

パクボンネ、組織行動隊員数人をひきつれ登場・舞台上の行動隊員挨拶、女工たちを待伏せ 女工たち三々五々登場

**女工A** ああ寒い。でも今日は組合の役員選挙の日だと思つと早く目が覚めたわ。

**女工B** 私。私たちの組合を奴らの手に渡したらおしまいだものね。

**女工C** そうよ、なにしろ会社側のカイライの手に組合を渡したら、いつになつても私たちの問題はなにも解決されやしないんだから。さあ、みんな一緒に投票に行きましよう。

女工たち投票所である組合員室へむかう 投票所の入口で、パクボンネの指令の下、突然数人の男が女工たちの前に立ちふさがる

**組織行動隊** 入るな!!

**女工C** あんたたち、だれ!

**組織行動隊** おまえたち、おれたち組織行動隊を知らないのか? おれたちはなあ、お前らみたいに労働者の権利とか自主的組合とかうるさく騒ぎたてる組合へ行つて、こうしておとなしくさせるのがつとめのなヨ。空手六段のこの一撃をお見舞しようか。それ!!

**女工たち** (口々に叫ぶ) キャー! 助けて! ああ何するの!  
**女工D** そこをどいて! 私たちは投

票しに来たんです。  
**組織行動隊** 投票? 笑わせるな! 女どもが嫁にも行かず何が労働運動だ! だまつておとなしく、とつとと帰れ!

**女工E** いやです、私たちを妨害しないで!

**行動隊** なにをなまいきな! バッタノコのくせにノやさしくしてやればつけあがりやがつて!! このバカヤロー! これでも食ええ!

男たちは女工につかみかかり、防火用のバケツから糞尿を浴びせかける 逃げまどい組み伏される女工たち

**女工G** おまわりさん!! なんでそこで黙つて、つたつていてるだけなんですか! 私たちを助けてくれな

いんですか!

**警官** だまれ! だまつとれ、このアマ! 教育したあとでゆつくり助けてやるからな。

そこへ、もつと大勢の女工たちがやってくる 会社側の推す支部長候補パクボンネ、笛で合図 行動隊整列

**パクボンネ** あいつが支部長候補だ、あいつをやれ!

行動隊、女工側の支部長候補をひきずり出し、糞尿を顔になすりつける

けじやなく、海の方もグルに取りまけ! 国境という国境に、軍人が手をつなぎ、一歩もひくな! 国力総和、国家安保。

**四丁目の閣下** カッカノ言葉を、お山の閣下、なにやら言う

**四丁目の閣下** (耳を近づけ) ハア? ハッ! 大統領緊急措置X号、かしこまりました!

**三丁目の閣下** (手を叩く) 強力殺虫剤!

組織行動隊、登場 横隊をなす

**行動隊** ウォッス!!

**五丁目の「美人」** たのしいわあ。お兄さんたち。たよりにしてるわよ。

**四丁目の閣下** だが、もう一つ足りない。

閣下たち額を寄せる

**三丁目の閣下** そつだノ労働規約改正だノ問題ある支部組合は即刻解散、会社も首だ。

**全員** まずは東一だ、東一支部の二月の執行部選挙を力づくでもぶつつぶせ!! (全員高笑い)

行動隊、武闘訓練 空手の型を披露

### 第五幕第一場 糞尿事件

場所 東一紡織労働組合員室  
時 一九七八年二月二十一日  
朝五時

**パクボンネ** そつちにいるその奴が書記長候補だ、やれ!

その隣りの奴も都市産業宣教会に通つていから、やれ!

あいつはいつか私をカイライと言つて批判した、やれ!!

あつ、あいつは、あいつは私より美人だ、クヤシイ! やれ! やれ!

男たちは、女工たちの顔に糞尿をこすりつけ、殴打し、暴れ回る。

女工たち、一挙に組み敷かれる。

キムヨンテ登場 様子を窺に来る

キムヨンテ(行動隊、パクボンネに向つて) ゴクローゴクロー

リチヨンガク (支部長候補、第二幕での女工C) キムヨンテ! あな

たは繊維労組の委員長でありながら、私たちの要求をとりあげもせず、私たちをこんな痛めつけて一片の良心もないのですか? (行動隊に両腕を阻まれ押さえつけられながら)

**女工たち** (口々に) 労働貴族とはあんたのことだ! 私たちの組合費で自分だけ高級車を乗り回して、

キムヨンテ 何を! このメスイヌ、リチヨンガク! 女のくせに何をぬかしやがる! おまえはアカだ! お

まえはあの牧師チョファスンの子分だろ、チョファスンはアカの頭領だ、その子分のお前もアカだ。

都市産業伝道は世界的なアカの組

キムヨンテ! あなたは繊維労働者の委員長でありながら、私たちをこんなめに





かるに女工はもと利己主義で、どのような精神的武装の機会もなかった。簡単で簡単なアジにも動かされるのであります。最後に、女工たちが問題をおこすと、泣いたりわめいたり、極端な行動に走るのであります。その間には誰の命令やアドヴァイスにも耳をかさず、大変ヒステリックになるのがあります。この種の行動は男にとって大変厄介なものであり、この種の狂気と興奮は共産主義者に大変利用され、事実、都市産業伝道もアカと同じく女を利用してゐるのであります。都産は、ほとんどが女工である工場にもっとも効果的に浸透しているのがあります。また将来も奴らは女工に焦点をおきつけようとは明らかであります。女と宗教に注意しましょう。

キムヨンテ ホン先生の実に良いお話、ありがとうございます。今の話にもあったように、破壊分子が宗教の衣をまとって労働組合にもぐりこんでいる。奴らは分裂を、あおり社会不安を醸成してゐる。そして特に女を狙つてゐる。特に八〇%が女である我が組織は、一番宗教に犯されてゐる。中でも東一紡織はもっとも良い例だ。我々は今から徹底的に宗教と闘うぞ。

女工たち

M. (自由の歌)

キムヨンテの合図により、行動隊、女工たちの円陣に殴りかかる。ブラカードの破壊される音、歌い続けられる「自由の歌」 数名の女

「我々は人間だ！」

「我々はアカではない！」

「労働三権を保障せよ！」

「女性運動を弾圧するな！」

「宗教弾圧をやめろ！」

女工たち 「キムヨンテは出ていけ！」

神父の家であろうと牧師の家であろうと教会であろうとぶつこわしてやる。それからあの生意気な女どもをひねり潰してやる。キムヨンテを八つ裂きにしてぶつ殺せ。その子分リヨンガクをやつつけろ！」

東一女子労働者、突然客席で立ちあがる。ブラカードをかかげ、スローガンを叫びながら舞台上にかけ上がる。

趙和順 趙和順牧師登場

趙和順 私はキムヨンテと申します。一九六六年、伝道のために仁川に来て、この東一の娘たちと出会いました。そして一九七二年、働く人たちの組合を初めて組織して、委員長キム・キルジャを選びました。彼女の仮名入社問題をきっかけに、会社や労組の色々な横やりが開始されましたが、産業宣教会での労働者の権利の学習を通して闘いを続けて来ました。法律が法律として守られるようにと、私の教えられることといたたら、ハンゲルしか読めなかった彼女たちに、漢字を教えること位のもの。逆に私はこの娘たちから多くの事

プリバ (韓国)

(根、ニ派=ラデカレ派) 訳 鄭敬謨



2. 維新憲法 撤廃せよ ヲッタナヨア  
※ 共に死に共に生きよう ヲッタナヨア  
ひびをまげて生きるよりは  
立つにまで死のうじや「はいか」
3. 言論自由 とり戻せ
4. 女性解放をわれらに
5. 日韓や者 絶対許すな
6. 軍備拡張 許すな
7. 経済侵略 許すな
8. 公害輸出 反対

織だ！俺はキムヨンテや教会に  
いるアーメンどもをみんな根こそぎにこつぱみじんにしてやる。ぶつ殺してやるからな。よし、もう一回やれ！！

女工たち キムヨンテ 助けて！

キムヨンテ以下権力側の者、高笑いしながら退場

糞尿にまみれ、血を流し、涙と寒さと怒りでふるえる女工たち 中央によりそつてうずくまる

女工A (頭をあげ) 私たちいくら貧しく生きていてもクソを食らって生きたことはない。

女工B いくら貧しい生活をしていても私たちは人間だ！

女工C 私たちの手で私たちの組合の代表を選ぶことが、どうしていけないのか！

女工D 私たちは労働組合を通じて民主主義も習い、少なくとも我々の指導者は我々の手で選ばねばならないことを知っています。

女工E 会社側のカイルに労働組合をひき渡すことはできない。

女工F 私たちは最後まで闘って勝利する。

女工G 正義は倒れないということ。私たちが知っています。

リヨンガク ここで我々が膝を屈するなら、我々と共に苦痛をなめている数多くの労働者たちが人間としての権利を放棄するようにすることを知っています。

女工全員 膝をかがめて生きるよりも、立ったまま死のう。！

M. (プリバ)

第五幕第二場 奨忠体育館「勤労者の日」の式典  
一九七八年三月十日

チュング・ドングホ えー私が韓国労働組合総連合委員長チュング・ドングホであります。本日三月十日は、韓国「勤労者の日」でありまして、ここにお集まりの勤労者の皆様方は、この栄えある韓国労働組合総連合の御指導の下、すくすくと成長してきたことを祝うためここに集まられたことと申します。勤労者の日は、やたらに労働者の権利や団結を主張するアカのメーデーとは根本的に違うのであります。我々勤労者は資本家と一致協力して祖国の近代化につくすべきであります。我々勤労者は勤勉に働き、ついに輝かしい百億ドル輸出を達成し、我が祖国の偉大な発展に寄与したのであります。国の経済が発展してこそ、我々勤労者もフロ桶から水があふれるように豊かな生活ができるようになるのであります。しかるに、

最近このような我が国の発展を妨害し、善良な勤労者を煽動し、我が韓国労働者を破壊しようとするこれらの輩は、宗教の衣を被ったキツネのような奴らであります。このような悪がしい悪らつな奴らの正体を暴くために、本日こちらにホンチュヨン先生をお招きしたわけでありまして。それでは先生どうぞ。

ホンチュヨン (元KCIA) 私がホンです。みなさん、キリスト教の都市産業伝道やカトリック青年会はアカです。奴らは国際共産主義の手先です。例えば、都産と共産党のやり方には類似点がある。といひますのは、奴らはいつも男の労働者には関心がありません。女にばかり関心がある。それは何故でありましょうか？まず第一に、女は男よりひつかり易い。女は逆上的で論理が分からない。すぐ興奮し性急でセンチメンタルで見栄っぱりなので操作され易いのです。第二に、ほとんどの女子労働者は、未熟練労働者であります。男より賃金が低いので不満であり、すぐ煽動されるのであります。第三に、男は軍隊へ行き、国家とその安全の必要性についての知識で精神的に武装されています。し

工たちひきずられていく 歌い続けられる「自由の歌」

第六章 ハンスト

一九七八年三月十日〜二十三日

女工全員 私たちの仲間を返せ！

キムヨンテは出て行け！

東一問題解決せよ！

労働三権保障せよ！

女工10 私たちは二月二十一日の糞尿事件、三月十日の体育館事件における当局の処置に抗議して、無期限ハンストに突入します！全員 突入します！



# 東一紡織闘争経過

一九四六年～七八年

一九四六年三月

東洋紡織（東一紡織の前身）に労働組合結成

一九四六年六月

朝鮮労働組合全国評議会（全評）の指導の下で仁川東洋紡織の労働者ストライキ闘争、団体協約締結。

一九六一年八月

クーデターにより大韓独立運動総連盟（大韓労総）は解体、あらたに朴政権の下で韓国労働組合総連盟（韓国労総）が結成されその傘下全国繊維労働組合の支部となる。

一九六六年十月

仁川の都市産業宣教会の趙和順牧師が東一紡織に労働者として入る。

一九七二年

労働者の間で小さいグループ活動を始める。勤労基準法、労働条件の改善の方法についての学習活動をする。

紋切り型の賃上げ要求のみの男性中心で中央集権的な御用組合を批判し、韓国労働運動史上はじめて女性の支部長を選出し、自主的な組合づくりを目指す。

寄宿舎、作業場の環境等が改善され、職制の暴力に対しても泣き寝入りしなくてもすむようになった。しかしこのような民主的な組合運動は、筆舌につくし

除名、ユニオンショップ制のため四名は労組を除名されたことにより会社から自動的に解雇された。

三月十日

釜忠体育館で行われた「勤労者の日」の式典で東一紡織の労働者たちはシュプレヒコールを叫び三十一名が中部署に連行され、護送車の中でも「自由の歌」を歌いつづけた。

三月十日

百十一名の東一女子労働者が明洞カトリック聖堂と仁川都市産業宣教会でハンスト。都市産業宣教会のスタッフ東亜自由言論守護闘争委員会もハンスト。詩人の高銀はハンスト中の女子労働者を訪ね「東一紡織の娘たちに」という二篇の詩を読んだ。五万人を集めたイースターの礼拝で東一女子労働者がマイクを奪い要求を叫ぶ。六名逮捕。

四月二日

百二十六名の女子労働者が無断欠勤の名目で解雇された。全国繊維労組委員長、金永泰は百二十六名の名簿を全国に配布し再就職の道を閉ざす。

四月二十六日

解雇された六十八名の労働者が東一工場に押し入り座り込み、工場に残っている他の仲間との

合流をはかったが、機動隊が導入され九名が連行された。

五月十八日

統一主体国民全国会議の代議員選挙が行なわれ、全国繊維労組委員長、金永泰が釜山から立候補、それを聞きつけた女子労働者七名が釜山に行き、彼の非人間性を暴いたビラを配布、労働者は選挙法違反で逮捕されたが金永泰落選。

一九七六年七月

会社側は男子職制を組合役員に据えようと選挙に介入し、女性支部長は連行された。女子労働者たちは電気も水も断られた工場に三日間籠城し、最後に警官が踏み込んできた時には裸になつて抵抗し、車の下にとびこんで車をストップさせたが七二名が連行され、五十名が気を失い、十四名が病院に運ばれ精神分裂症を起した者もある。しかし第三世代女性支部長を選出した。

九月二十二日

キリスト教会館で開かれた金曜祈祷会で東一紡織の女子労働者達は自分たちの闘いを仮面劇にして上演したあと、会場から路上に走り出てシュプレヒコールを叫び、待ちかまえていた機動隊につかまり暴行をうけ会場にも機動隊、私服KCIAが侵入し無差別に撲り蹴り歯をへし折り二十七名が起訴された。趙和順牧師はその後釈放。

十一月六日

趙和順牧師は釜山へ、五月十八日の事件で逮捕された東一労働者の裁判へ支援に行き九月二十二日の事件を報告し、逮捕された。

二月二十三日

東一紡織は一億ドル輸出を達成し朴大統領に表彰された。

三月六日

全国繊維労組中央委員会において全国繊維労組委員長、金永泰は東一紡織労組の執行部四名を

# 韓国の政治的背景

一九四五年～七八年

一九四五年八月

日帝からの解放

一九五〇年六月

朝鮮戦争勃発

一九五三年七月

朝鮮戦争休戦

一九六〇年四月

四月学生革命

一九六一年五月

朴正熙らによる軍事クーデター

一九六五年八月

日韓条約締結

一九七〇年一月

外国人投資企業の労働組合と労働争議調査に関する臨時特別法

一九七一年四月

在日韓国人母国留学生徐勝兄弟学園浸透スパイ事件で逮捕

五月

大統領選挙

一九七二年七月

七・四共同声明

十月

非常戒厳令下で「維新体制」を宣布

十二月

維新憲法公布

一九七三年八月

金大中拉致事件

十一月

学生運動再燃

十二月

東亜日報記者「言論自由守護宣言」

十二月

改憲請願百万人署名運動

一九七四年一月

「大統領緊急措置」一号、二号、三号で改憲運動弾圧

四月

「民青学連」事件。緊急措置第四号、金芝河ら死刑判決

八月

文世光事件。反日デモ

十二月

東亜日報への広告契約解除による弾圧

一九七五年二月

「人民革命党」グループの中で国家三法および反共法違反関係者を除く緊急措置第一号、四号違反の政治犯釈放

三月

金芝河再逮捕

四月八日

「人民革命党」八名処刑

五月

インドシナ事態の波及をそれぞれ緊急措置第九号発動

八月

張俊河、登山中謎の転落死

九月

日韓閣僚会議再開

一九七六年三月

「韓国労働者人権宣言」

七月

長編詩「民衆の声」の作者で労働者と共に運動をしてきた元ソウル大学生張球拘逮捕

一九七七年七月

協信皮革の労働者閉鎖、労働災害で死亡

九月

平和市場労働者による李小仙女史奪還労働教室奪還の決死闘争

秋

日系企業邦林紡績の労働者は、工場セマウル運動の、早出残業に対する八億円にのぼる未払い賃金要求運動をおこす。

一九七七年

アルバム製造会社仁善社、生理休暇闘争

一九七八年一月

労働運動の高揚を抑えるため韓国労総は規約改悪し、組織行動隊を設ける。

韓国労働運動協議会結成

## その後の東一労働者——同志会報から

わら半紙を二つ折りにした大ききの四頁の印刷物。裏表に小さな活字がびっしり詰まった通信。東一の女子労働者たちの作った「同志会報」創刊号である。「みんな、どうやって暮らしているの? 集まって話しよう。産業宣教会の二階で、この間結婚した崔ミョンヒ姉さんの送って来たもち米で作ったお餅を食べながら、多事多難だった一年をかえりみましよう。こんなよびかけで始まる会報の中から、彼女たちの喜びや悲しみのこもる内容を紹介する。紙面の都合で文章の一部は省略した。

### 今も胸の奥深く

私たちにとって、七八年は受難の年だった。二・二二事件(糞尿)から、三・一〇事件(労働節行事)、三・二三事件(断食籠城)、三・二六事件(復活節礼拝)、四・二六事件(現場乱入)、五・一六事件(釜山選挙法違反)、八・二二事件(裁判所前デモ)、九・二三事件(キリスト教会館演劇)など、目まぐるしい時間のうずの中で、去る九月には臨時労働組合を解体して、あらたに「東一紡織民主労働運動守護闘争同志会」を結成し、会報を発行することになったのは、いろいろな面で意義深い。

この長い日時、いっしょに苦しみを受け、それに耐えて来た仲間たち、ともに死に、ともに生きようとした私たちだったけれども、貧しい生活は、ともに死ぬことすら出来ないように切迫して来たので、痛む心を抱

話し、苦しみつつ、もう一度、あたいた共同意識を形成して、内に貯えた力を成長、強化させようというのが、この会誌発行の目的である。同志たちよ、私たちの胸深くに今も、義の血潮が脈打っているのは私たちがまだ挫折するにはあまりに若く、無限の可能性があるからだ。信念と勇気をもって前進しよう。

(創刊号を出すに当たって)

### 手に手をとって

糞尿でいどられた一九七八年度も去ろうとしている今、同志のみなさん、お元気ですか?

神から与えられた権利と生存権を無残に奪われて、巷にさまよいつつもいつよりも、自由と正義が必要であることとて、権力と争い、あらゆる誘惑と圧力の中にも、不義と妥協することなく戦って来た私の同志たち、私たちの戦いは、決して消えてなくなるものではなく、またこれで終るといったものではありません。私たちの戦いは、瞬間の気分からではなく、生きることであらねばなりません。過去数カ月、矯導所にいる間、みなさんは、熱いやけつくような日さしの下で、真黒になるまで勇敢に戦って来られました。外に出てみなさんの涙ぐましい戦いのことを聞きながら、私は、何度いきど

おりと悲しみの涙をのみこんだか分りません。私が再び自由の身となり、みなさんの暖い胸にかえることが出来たのも、みんな、みなさんの血のにじむ闘争の結果だと思い、あらためて感謝します。

しかし、今も、大邱矯導所に移監されて苦しんでいる、朱ソンレー、金オクソプ、権プラン、孔インス、朴ヤンスンの同志たちを思う時、彼らの苦しみを代ってあげることはできないのが口惜しいかぎりです。私自身はむろん、外にいる私たちが余りにも安逸な生活におちいつていることを卒直に告白せざるを得ません。遠くに離れて行った人もいる反面、今も、多勢の人たちが正当な要求事項が貫徹される時まで、引続き戦うことを誓い、また戦っているのを見る時、私の心は、限りなく、安らかであることを感じます。

同志のみなさん、暗い夜がすぎれば、明るい夜明けが来ます。古いものをすてて、手に手をとって前に前に進みましょう。(李・チョンガク 前支部長)

### 未来の労働世界のため

冬の夜が更けて行くのに、遠く工場から聞えてくる騒音は、夜の静寂をやぶって、疲れた人たちの眠りを妨害しています。あの騒音にみちた現場の中で、押しよせる眠気と疲労に立ちむかっている、働くきょうだいたちの姿が目につきます。こうして暖い室で眠りにつこうとしている自分が、ただ限りなく、みんなに申し訳ないような思いです。

長いこと、いっしょに、苦しみや痛みを領ちあつて暮して来た同志たち、今はどこで新しい生活の営みをしているのか、心配でみんなに会って安否をたずねたい思いがひとしおです。思いがけぬ事件で選挙もできないまま不当に解雇され、ことに我慢できないのは、他の職場にまでも就職できないようにされてしまうなど、到底理解され得ない受難と悲しみを味わった私たちです。でも、絶望しないで、堂々と逆境とたたかっているのも、正しく、真実に生きようという信念と誇りをもってやったという自負心のためではなかったかと思ひます。私たちは、だれかの指示や命令によってではなく、自分自身の判断によって、主体性をもって戦って来たので、だれの前にも胸を張って立つことができるのです。

けれど、生活の苦しさ、あくまで不義と戦い続けることができず、無念な思いで去って行った同志たちに、どうしたら私たちが力になってあげられるでしょう。恥しいことに、みなさんよりも、いろいろな足りないところばかりの私が残って働くようになってみると、肩の荷が重く感じられます。そしてまた、復職だけをめざしている同志たちのために、何をしなければならぬのか、小さな胸

### 正しく生きねば

いかに生きるべきか? これがいつも私の心にある問いである。果してどんな生が正しい生なのか。私たちの考える正しい生とは、義のために生き、正義の側に立つて、打ちひしがれたもの、抑圧されたもののため戦う、そのような生である。けれども今の世界では、そのようなことが通じない。人の上に人なく、人の下に人なしということばは我が国では通じないらしい。強者が弱者を打ちひしぎ、企業主が労働者を搾取し、誤った政策が庶民を苦しめる。(中略)：学校で教わった通りに、やさしく、正しく生きようとするれば、社会の落後者になってしまう世の中である。それなら、どう生きるのか? 人に命ぜられるまま働き、くれるま

はいたみ、頭の中はいろいろな思いが入り乱れます。けれども、絶対、逃げないで、私の力の限り熱心に働きますから、みなさんも、協力と関心をよせてください。

今日、私たちに与えられた苦痛は復職の日のためのものであり、明るい未来の労働世界のためのものであると固く信じて、たゆまない忍耐と闘志をもって試練を克服して行く同志となりましょう。(崔・ヨンボン)

まをもらい、不義を見ても見ないふりをするのが正しい生き方なのか。物価は天井知らずの高さで労働者の賃金はいつも安い。そんな中で私はどうすればいいのか、最近はいろいろ考えさせられる。：義のために戦って解雇された私だから、大学生や金持、美しい人にも、恥じることはない。：だが、今はやる仕事もなく日をすごしている。(中略)：勉強もしたいし、本も読みたいし、やりたいこと、見たいことはたくさんあるのに、金銭がそれを絶対に許さないのだ。お金を稼がねばならないけれど、どうやって稼げばいいのだろうか。会社はたくさんあるが、みな長時間労働で低賃金である。：でも勇気をもって、努力し、覇気ある私となろう。(ユン・チュンブン)

### 会員消息欄から

- 五・一八釜山選挙法違反嫌疑で獄中にある同志たちは一月一二日大邱矯導所に移監された。囚われていた彼女たちの心に自由の火花が消えないよう激励文を送りました。
- 李チョンガク同志が去る一〇月末鶴翼洞へ転居。前の住居は貸室ながら静かで気に入ったので、「お嫁に行くまで住むつもり」だったが、刑事たちがたえず訪ねてくるので、家主にいやがられて移らなくてはならなかった。新しい室は、窓の外に矯導所が見え、みるたびに胸がいっぱいになるとのこと。
- 組合の歴史に惜しみなく献身して来た鄭義淑さんたち六名が結婚。：闘争から得た強さでどんな試練も克服してゆくという。
- 九・二二の悪役トップ・スター金チャンスン同志は、今、出所して、今度は家族たちの暖い拘束の中にある。もう金を稼がなくてもいいから家にいてくれという父親のことばをふり切ることが難しいという。
- 我々のおとなしい末娘チン・ソンミさん。今は低賃金の職場で大変だが、今も、過去を誇りとすると。
- 退職金をもらったのが恥しいという人たちも。でも、みんなで集りましょう。

## その後の女子労働者たち

東一紡織の女子労働者たちの戦いは、今も、きびしい状況の中で続けられている。

昨年九月の演劇事件で逮捕された趙和順牧師は、裁判もなく拘留されていたが、一月二十五日に第一回公判が開廷されるはずであった。ちょうど旧正月の帰省客で、釜山へのバスも混雑する中で支援者たちはやつと傍聴にかけつけた。しかし、この日の裁判は無期延期となつてしまった。裁判官と検察当局の間で意見の不一致があり、裁判を回避したためであるという。結局、一審の判決が三月半ば過ぎに出され、懲役五年の判決を受けた。

獄中の趙牧師と面会した韓国教会協議会関係者の話では、東一事件の起る以前から彼女は健康を害しており、甲状腺腫だということだったがその後、治療を受けることもなく獄中におかれていたため健康が憂慮されるという。

去る二月二十五日には、仁川のカトリック会館で、東一紡織事件一周年を記念する集会が行なわれるはずであった。女子労働者たちはこの日の集会のために、劇や詩の朗読、音楽、解職教授協議会の李文永教授の

講演など、多彩なプログラムを準備していたが、当日は、会場周辺を警官がため、開場約一時間前の午後五時から交通を遮断したため、会場の中で準備に当つていた三十名のほかはだれも入れなかった。

しかし、七時頃までには、厳しい警戒網をめぐりぬけて約五十人が会館の前に集まった。五十名の参加者と私服・制服の警官が対峙し、抗議と怒号の渦の中で労働歌の歌声がひ

### 続く労働者への弾圧

七九年三月、キリスト教の信徒運動の機関として、対話の運動をすすめる、労働者や女性、農民の会合を開いたり、雑誌「対話」を発行して来たクリスチャン・アカデミーの職員たちが逮捕され、反共法で起訴された。その中には、二人の女性も含まれていた。女性関係のプログラムを担当していた韓明淑（ハン・ミョンスク）さんと、社会問題担当の辛仁鈴（シン・インリョン）さんである。韓さんの夫は、統一革命党事件で獄中にあり、彼女は共産主義の書物を研究したということが、逮捕の名目となつてゐる。

ろがり始めると、館内の三十名も二階の窓を開けて合唱に加わった。やがて七時五十分頃には、両者が合流して、そのまま、警官の並ぶ表通りを行進しはじめた。「お、自由」などの歌を歌いながら、一行は東仁川地下商店街などを通つて、一キロ余りを行進し、予期しなかったデモは同夜八時二十分頃解散したという。

九月二十二日のキリスト教会館演劇事件の再燃を当局がおそれたためであろう。だが、九・一二事件で今獄中にある五人は、まだ、釈放されていない。

この事件の発端は、あるデモで逮捕された女子労働者が、労働歌をだれに教えられたかと問いつめられ、韓さんになつたといふたことからだともいわれており、まったく、理由にならないことから、事件をデッチあげ、さらにジャーナリストや大学教授らを含むもうひとつのスパイ事件と結びつけようとするなど、作

為の跡がありとみえてゐる。しかも、この事件に関連して、東一紡織の前支部長李チヨンガクさんはじめ、何人かの女性の労働組合幹部たちが連行され、取調べを受けてゐる。女性の多い組合に対する当局のいやがらせや干渉を示すものではないだろうか。

## 【資料から】

### 女子労働者の手記

選挙法違反事件で投獄された女子労働者のひとり、金オクソプさんは、自らの歩みを綴つた長い文章の中で次のように自分自身のこと

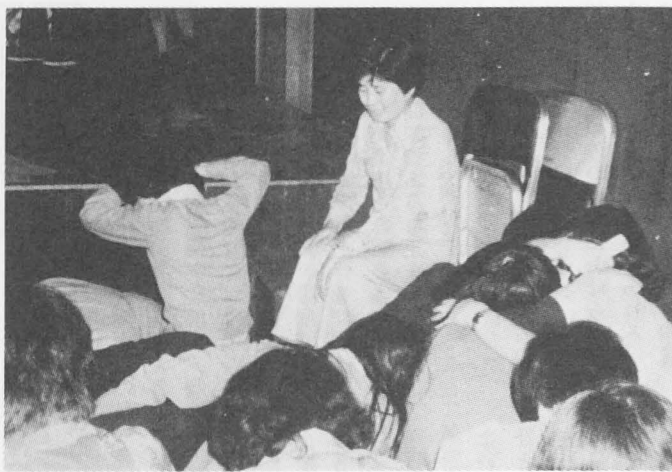
をのべてゐる。  
……私が国民学校を卒え、故郷を離れて、他郷ソウルで食べて行こうと上京したのは今から六年前、十五才の時だった。工場に入るには年が若くてだめなので、店員をしていたが、二年目の七二年八月、姉の出ている東一紡織仁川工場に入ることになった。当時、満で十六才になつていなかったたので、他の人の名前を借りてやつと入社したのであった。

工場に入つたら、ちゃんとお金もらえるという夢を描き、お金を稼いで、勉強もしたいと思つてゐた。その時、同じ班のお姉さんたちについて行くようになったのが都市産業宣教会であった。……グループ活動をして、どうすれば誇りある生活ができるかと考え、生活の問題を討議し料理や生花や、漢字を学んだ……  
そして、七六年の未曾有の組合の抵抗の中に彼女も加わつてゆく。

クリスチャン・アカデミー事件は宗教弾圧として注目を集めている。東一事件で、都市産業宣教会やJOCを弾圧したのに続いて、わずかに残つていたキリスト教機関のアカデミーをつぶすというねらいに加えて女子労働者の意識化運動への弾圧もここにひとつ加わつてゐるようだ。

### それでも歌声が！

こうした弾圧の中で、すばらしいミュージカル・ソングが女子労働者の間でひそかに人気をよんでいるの



だという。作曲者は「金冠のイエス」で知られる金明基氏。

工場の仕事のつらさと、その中で組合を組織しようという労働者たちの盛りあがりや示す合唱、「カネ、カネ、カネ」とわめく経営者の歌、「下記のもの無断欠勤により退社を命ず」：カチカチカチというタイプライターの無情なひびき、故郷を恋うる女子労働者のしずかな歌声、  
雁よ、母さんに伝えてよ！

こうした歌声が、女子労働者たちの間にひろがっていることは、戦い上九・一二演劇で泣きぐずれる労働者と趙和順牧師（中央）、下悪役に扮して。後の幕は「東一問題解決せよ」「拘束労働者釈放」。



がまだまだ敗北に終つてゐないことを示すものであろう。

七八年二月以降の東一の戦いの担い手の何人かの手記によれば、彼女たちは、七六年夏の未曾有の裸体での抵抗の際、そこに居合せ、ともに戦つたものの、そこではまだ年若く、ためらいながら参加した人たちがあつた。それが、戦いの中で、きたえられ、次の場面では先頭に立つてゐる。

七八年二月の戦いに加わつた人々の中から、さらに、また新しい戦いの担い手が育つて行くことであろう。女子労働者たちの歌声はそうした可能性を示しているかのようだ。

金 一哲 著

## 火花よ、この闇を照らせ

——韓国女子労働者の戦い——

B6判240頁・予価 1,200円

160 東京都新宿区新小川町 3-1 新教出版社

（労働者のみたイエス）金オクソプ・シアルソリ77年11・12月号）

労働組合の勝利を心から喜びつつも、私にはもうひとつの喜びがあつた。それは、ながい間苦しんできた信仰的な葛藤が解消されたのである。それは私にとって真の喜びだった。……それは労働組合と結びついてゐた。私には、労働組合に対するはつきりした理解や信念が欠けてゐた。……いっしょに籠城し、ハンストをしながらも、それは自分の信仰から出てゐなかつた。

彼女は、戦いの中でついに自分の信仰的な立場と、労働運動はひとつなのだと思出すに至つたのだ。

# 労基法とアジア

昨年十一月二十日、労働大臣の私的諮問機関である「労働基準法研究会」(会長代理・有泉亭東大名誉教授)が、労働基準法のなかの時間外労働制限、深夜業禁止、危険有害業務への就業制限、生理休暇などの婦人労働者に対する保護規定の撤廃を提言する報告書を出した。この報告については、ごく少数のエリートや専門職女性からの賛成の声をよそに、労働団体や婦人団体、働く女性たちの批判の声相次いであがっているが、アジアの女子労働者とのつながりを軸にして考えるとき私たちは、この問題が、私たち自身にとつての大きな問題であるに止まらず、アジアの女子労働者全体を巻き込むおそれのある大変な問題であることに気づかざるを得ない。

## 女工哀史は過去のものか？

韓国や東南アジアの女子労働者のことについて語るとき、よく、その状況を、「かつての日本における女工哀史」だということばが使われる。時には、それは善意の支援者の同情にみちた表現であり、また時にはそれは、体制派の、「日本も昔はそんなこともあった。そのおかげで、今こうして経済が成長して、そんなことはなくなった。アジアの国々でも今はしかたがない」という肯定の論理として用いられる。後者に会おうと、私はいつも腹立たしい思いをかくせない。こうした論理の主には、「ああ飛騨が見える」とつぶやいて息をひきとった糸ひき女工のように、血を吐きつつ死んで行った何万という若い女性たちの姿は、まったく見えてい

ないらしい。年少女子労働者の血と汗と涙で得た外貨をもつて軍備を拡張し戦争にのめりこんでいった過去の日本の姿が、「近代化」のモデルだと彼らは信じているのか。

だが前者にしろ、後者にしろ、こうした表現は、いささか正確さを欠くのではないだろうか。

その第一はまず、日本の女工哀史は過去のものとなったと言いつけるのだろうかという点である。たしかに、今世紀初めの紡績工場であられたような人権じゅうりんは、現代の社会ではとうてい考えられないことである。だが、現在の日本のすみずみに形をかえた女工哀史が今も生き続けているということである。近代化された明るい工場、蛍光灯のもとの八時間労働、労働組合は人数を

誇る——そんな大手の企業で、実は、八時間労働の中の労働密度のみが高まってゆくに、職業病、肩頸腕症候群や、お手洗いに自由に行けないために神経性の排尿困難症まで多発し、青春を楽しまどころか、身体をこわして退職してゆく人たちのために平均勤続年数は数年にすぎないとか、あるいはまた、農村からの出稼ぎ労働者、家庭の主婦のパート労働や臨時工など底辺の労働や臨時工など底辺の労働者に課せられる苛酷な労働条件、山間部の小さな工場で婦人たちが二晩続けて徹夜作業をしていたなどと労働者の人権無視は他国のことだといえない状況である。

その第二は、今、たとえば、韓国における労働者の状況を、一九一〇年代、二〇年代の日本と全く同じだといえるかどうかという問題である。一九七八年度に韓国では百二十七億ドルの輸出実績をあげ、輸出主導型のめざましい経済成長を上げていくことは事実であり、輸出産業の面においては、近代化と技術革新がすすめられていることは言うまでもない。輸出の三一・三%をしめる繊維産業にしても、大手の企業において機械設備の近代化がなされ、単に豊富な労働力のみに頼る手工業的な生産段階は脱皮したとみられるべきだろう。従業員数一千六百名、紡績

から織布、染色までの一環作業を行なう東一紡織や、従業員数六千をこす邦林紡織の場合も、設備の面では日本の工場と違わないであろう。米国仕込みの経営学者や産業心理学者に事欠かない韓国では、スマートに労働者を酷使するやり方も、日本と同じく導入されている。東一の子労働者の生活の中に、QC(クオリティコントロール品質管理)という二文字が日常化していることからそのことはよくわかる。

ただ韓国の場合、経済発展の光と影の部分があり、平和市場に代表される国内向けの産業は、この影の部分を作っている。輸出産業にくらべてこうした小企業の立ちおくれは著しく、劣悪な作業環境と長時間労働、そして年少者の就労が当然のごとくくり返されている。つまり、日本にもある二重構造と格差が、韓国ではもっと鋭く、表面化しているといえる。

このようにしてみると、韓国の労働界の中には、当然、日本にみられるような近代化と技術革新の中での形をかえた女工哀史とよぶべきものも存在するし、同時に底辺の労働者の問題がある。もちろん、その一部は、近代的な大工場の中の人間関係や賃金格差の形でない合わせつており、日本の大手からはなくなっ

た女子の深夜業が、輸出産業という名目で行なわれている。一方で日本と全く同じ状況があることをみる時、日本の問題はそれのみに終わらない。

## ひとつのサークルの中で

日韓の女子労働者が同じような状況に直面していることを考えると、その次に、それでは、いったいこの両者の関係はどうなのだろうかと思えざるを得ない。

たとえば、一昨年から、日韓繊維戦争なることがよく聞かれた。韓国から安い繊維製品がどつと輸入され、それによって日本の、特に零細な企業が打撃を受けるということであり、この頃からスパーの下着売場にやたらに日本製を誇示する表示が目につくようになったと思う。けれども、実際に日本は加害者から被害者になったのだろうか？ある報告は、実際に韓国には日本の資本が入り、日本から機械も原料も持ち込んで生産した製品が日本に逆輸入されるのだから、日韓の競争は実は形をかえた日本の企業の中での競争なのだ指摘する。日本と韓国は今や、ひとつの経済圏の中に入ってしまったというのだ。

日本の労働者についていえば、進出する側の国に住み、韓国や東南アジアの労働者の作り出した製品を消費する側にいるという面では加害者

でありつつ、一方ではまた、同じ資本によって収奪を受ける共同の被害者であるわけだ。ひとつの輪の中に否応なく囲いこまれた私たち。その一部である日本の女性労働者たちが打撃を受けるときに、その被害は私たちだけに止まらないであろう。

資本の側がかたく結びついている時に、それに対抗する側は、お互いに切り離されて、相手の状況もよく分らないというのは口惜しい現実である。労基法改悪は男性によってのみ推進されたのではなく、むしろ一部の女性たちによって企図されたというが、今日のアジアで、あるいはまたアジアの外で、そのような「エリート」の女性たちに出会ったのは、とても容易なことだ。彼女たちは多分、他人が設定してくれた高級ホテルの会合で出会い、流ちょうな英語で知的な会話を交し、「平等」のスローガンを語る。一方、現場で戦う女子労働者は英語など知らないし、海外へ行くなど遠い話(日本を除けば)、バスポートを得ることすら難しい。

空文化されているとはいってもなお韓国には立派な「勤労基準法」が存在する。だが、その基準法を実際に手にするとき、それが日本の労働基準法と余りにも類似していることに驚かざるを得ない。わずかな差は、向うでは生理休暇一日有休であり、

産休が日本より短いことぐらいである。法体系が日本に似ているのは、日本の植民地として日本の法律が施行されていたという過去の遺産のゆえだとしても、似ているからこそ、こちら側が変えることが心配になるのだ。日本でも背後の事情ぬきで欧米のことが引き合いに出されているが、今、日本で労基法が変えられてしまったら、必ず同じことが韓国でも、アジアの他の国でもなだれを打って起るのではないのか？

韓国に例をとると、さまざまな制約のもとでザル法と化した勤労基準法を楯にして、今、戦いがすすめられている。女子の深夜業が輸出産業と

## 【参考資料】

日本の女子労働とその運動  
「富岡日記」一九〇七・和田英、中公文庫(一九七八)  
「女工哀史」一九二五・細井和喜蔵、岩波文庫  
「あゝ野麦峠」一九六八・山本茂実、角川文庫(初版、朝日新聞社)  
「片隅の発言」一九六八・塩沢美代子、日本キリスト教団出版局  
「結婚退職後の私たち」一九七一・塩沢美代子、岩波新書  
「風さわぐ野の花」一九七五・愛知県高教組連連部、高校生文化研究会  
「女のしごと・女の職場」一九六二・竹中恵美子、西口俊子、三一新書  
労基法の改定について

いう特例のもとで当りまえになっている韓国で、深夜業をなくすための武器となるのは自国の労働法と隣国の例であろう。深夜業をなくすこと、生理休暇をとること、それがどんなに切実な問題であるかを考えるときに、日本の労基法改悪がどんな影響をもたらすかが案じられる。

今、私たちが、自らの権利のために戦うことが、アジアの姉妹たちの戦いに役立ち得るのだと思う。逆に私たちの損失は、彼女たちにさらに大きな損失をもたらすであろう。そのために、私たちの今もつ自由を最大限に生かして使いたい。

(山口明子)

座談会「婦人労働法制の今後の課題」ジュリスト七九・二一・一  
「日本の女子労働者とアジア」韓国通信七九・二・二〇、塩沢美代子  
「韓国の経済」一九七六・隅谷三喜男、岩波新書  
「韓国の労働運動」一九七八、金潤煥、拓殖書房  
「日韓繊維戦争の実態をみる」世界七八・三、「韓国の追いあげ」説に異議あり「朝日ジャーナル」七八・一・一三、中川信夫、「維新体制下でたまたかう韓国・紡績工場の娘たち」同六・一六、吉岡泉  
手記「燃えあがる涙」対話七七・十・十二、石正南  
手記「労働者のみたイエス」シアトルソリ七七・九・七八・一、金オクン

# 第3章・私たちの運動から

「かつて、中国、朝鮮半島をはじめアジアの国々で、焼き、殺し、奪い、女たちを犯す侵略の先兵となつたのは、私たちの肉親であり、友や恋人でした。そして今、私たちは、これ以上夫や恋人を経済侵略、性侵略の先兵として送り出す女たちであり続けることは拒否しようと思います。この決意なしには、私たち自身の解放は決して現実のものにはならないでしょう。」——「アジアと女性解放」——私たちの宣言」を出して「アジアの女たちの会」への参加を呼びかけて二年たちました。

日本の女の状況にたくさん問題があるのに、なぜアジアか？と問われ、問いつける中で、仲間がふえ、機関誌を発行し、「女大学」という公開講座を毎月一回開き、日本とアジアの国々とのかわり、私たちのくらしとのかわりを学んできました。その中で、アジアの国々で闘っている素晴らしい女性たちを知り、感動し、励まされてきました。

## なぜ私たちはアジアとかかわるのか

私がアジアとの出会いを行動に移すきっかけになったのは、一つは、金芝河をはじめとする韓国で命がけの闘いをしていく人々の、人間としての美しさに感動したこと。そしてもう一つは、東南アジアへの旅で、日本の企業が公害を輸出したり、日本の男性が集団で女性目あての観光に押しかけたりしているのを見て、こんなことではない、日本人として手をこまねいてられない、と

いう気持ちになったことです。アメリカやヨーロッパの女性解放に目を奪われて、身近なはずのアジアの女たちには目を向けなかった自分を深く反省したのです。

具体的には、まず、キーセン観光反対運動を起こし、その中で、在日朝鮮人の差別問題とか、政治犯救援とか、さまざまな形で、アジアと関わっていた女性たちともつながりができ、五年前に東京で開かれたアジア人会議で、こういう女性たちが「女性の立場でアジアのことに関心を持ち、発言していかねば」と話し合ったのです。会議のあと、小さな

この二年間のあゆみは、ささやかなものであったかもしれませんが、しかし、私たちは多くの出会いを持ち、素朴な怒りから出発した女たちが、自らの生き方を問いながら、あゆみ続けようと思ふしあう日々でした。

さまざまな運動にかかわってきた女たち、これからかわっていく女たちにとって、アジアとは何か、何故アジアなのか、問われ続けることでしょう。その時、私たちは常に「宣言」の原点に立ち戻り、女性解放運動とアジアとをどう切り結ぶのかを考え、行動したいと思っています。

今日、ここに、「アジアの女たちの会」二周年の記念すべき日を迎へ、これからの闘いの輪をひろげ、強める決意をこめて、「会」をとりまく状況、これまでしてきたこと、これからすべきことについて、五人の会員から問題提起を行います。

五島昌子

会合を開き、よい名前がなかなか見つからなくて、とりあえず「アジアの女たちの会」ということにして、会がささやかな形でスタートしたのでした。

会を始めてみると、アジアの国々のことを私たちはいかに知らないか、ということに気づき、これも、欧米偏重の教育やマスコミに毒されているからだ、まず自分たちで知る努力をする以外ないと、毎月学習会を開きました。各国順番に、女性の状況や日本との関係などを、その国に住んだことのある人や、留学生とかを招いて学習したわけです。

このような準備期間が二、三年あつて、二年前に「アジアと女性解放——私たちの宣言」をまとめ、正式に「アジアの女たちの会」を発足させたのです。三月一日という日を選んだのは、朝鮮の三一独立運動を記念するためで、十六歳の少女柳寛順をはじめ、多勢の朝鮮女性が命を捧げた闘いに勇気づけられたからです。

私たちの運動は何を目ざしているのか——宣言の中にあるように「二度と再び、アジアへの侵略に手を貸すまい。夫や恋人を経済侵略や性侵略に送り出すまい」ということに尽

きるのですが、これは、自分の生き方そのものを根本から変えていくことを要求されると思います。なぜなら、アジアの人々の犠牲の上に成り立っている日本のあり方、その中で私たちの生活そのものに、真向から挑戦することであり、世の中の流れに抵抗することだからです。自分さえ、自分の家庭さえ、安泰でありさえすればと、モノとカネ中心のエゴイステックな生き方が主流となつていく日本の社会で、女たちも、海の向うの女たちが飢え死にしよう、と、拷問で辱められようと、何の痛みも感じることができなくなつていたり、また、そういう事実を知ろうとさえしないというおぞましい現実があります。企業や政府の側は、国際的、多国籍的に動いているというのに、女たちの方が、国境によつ

「買春観光を許さない」高里鈴代さん



て分断されているわけです。そのような壁を打ち破つて、今日の集会の劇で見たような韓国の女子労働者たちや、タイやフィリピンやインドネシアの女たちなど、アジアの国々の素晴らしい女たちとつながりを持ちたい、連帯したい、そして、国内で私たちを差別し、抑圧している日本の体制に打撃を与えたい、そう思いながら、この二年間、さまざまな活動を積み重ねてきたのです。買春観光反対とか、政治犯救援とか、毎月一回の「女大学」を開いたり、機関誌「アジアと女性解放」を出したりして、アジアの問題を、広く訴える努力をしてきました。職場や、地域や、色々な場で、アジアの視点を忘れずに活動する女が、一人でも二人でもふえてほしいと願ったからです。何か具体的な獲得目標を持った運動というより、意識変革の運動ですから、息長く持続しなければと思ひます。

しかし、日本の国内での問題解決が先決なのに、なぜアジアなのかという疑問にも、終始つきまとわれてきました。けれども、この会を通じて、二つのことは別々のことではないということが見えてきました。たとえば、キーセン観光、買春観光一つとっても、日本の男性に体売るアジアの女たちが気の毒だから反対

するということではなく、むしろ、私たち日本の女が侮辱されているという意味で、日本の女自身の問題だからです。「一体、日本の女性はなぜ男性たちが女買いに海外へ出かけるのを許すのですか」というアジアの女たちからのきびしい告発を、私たちはどう受けとめるのか、ということです。

「今苦しんでいる人たちが求めているのは、あなたの方のあわれみでもなければ、嘆きでも、涙でもない。ましてや祈りでもない。怒りなのです。」というフィリピンのシスターの言葉が耳に残っています。私たちの運動は、この怒りにつき動かされてやってきたように思います。たとえば、私たち女性に仕事差別や賃金差別をしている一方で、アジアの国々に工場を作つて空や海を汚している日本の企業への怒り、家庭で妻を家内奴隷扱いしながら、ソウルへ、台北へ、マニラへ、バンコクへ女遊びに出かける卑しい日本の男たちへの怒り、良心的な人々を拷問にかけ、殺している独裁政権と結んでいる日本の政府への怒り……私たちはまずこの怒りをみんなで共有したい。それが私たちの運動の原点だと思ひます。

経済侵略グループ松井やより

## 買春観光を許さない！

海外旅行は、日本のGNPの伸びに比例して急激に伸び、今やあらゆるタイプの旅行が大量消費文化の商品として勢いを伸ばしています。特に七〇年以降、アジア諸国への観光旅行、即ち、台湾、韓国を筆頭に、タイ、フィリピン等、東南アジアの国々への旅行者の大半が男性で占められ、旅行の目的も単なる観光ではなく、団体旅行の多くが、アジアの女性を性的享楽の対象として扱う事が目的の、いわゆる「買春」観光旅行になつて来ています。

この観光「買春」旅行が、アジアの人々の目には、過去の日本軍侵略とダブつて写り、また、経済力に物言わせて、商品化された女性に群がる日本人の姿に、アジアの女性から次第に怒りの声が起り、それが、一九七三年の韓国において、梨花女子大学の「我が祖国を日本男性のための遊廓にするな」の抗議デモとなり、同じく、韓国キリスト教婦人の「日本男性が、韓国女性を性的奴隷として、経済的優越性を誇っている人々がいる」ということが人間の尊厳性を破壊する原因となりつつあり」と



「今こそ私たちに意識変革を」 富山妙子さん

密裡に葬り去ろうとしているのが現状です。そして、電気ショックなどによる性的拷問の残虐さは、女性であるがゆえの特徴なのでしょうか。私は、一昨年、キリスト教会主催のアジア青年宣教会議に行き、フィリピンのジェシカに出会いました。政治犯人權分科会で行った彼女の主張は、青年、婦人の政治犯は特に名も知られていないため、実態もつかめないし、国際的な世論もつくりにくい。それをいいことに、政府は彼らにしたいほうだいの事を行い、闇から闇へ葬ってしまう、私たちの務めは、これら若い政治犯釈放のための情報交換、ネットワークをつくるうというものでした。

そのジェシカが会議が終わってフィリピンに帰った直後、軍によって連行されたのです。フィリピンでは、軍に連行されるということは、令状なし、裁判なしの死を意味します。その後二、三回、青ざめた顔をしたジェシカが軍人に伴われて車に乗っていたという証言もありました。きつと強要され、仲間をさがすため使われていたのではないかということです。こんなことは日常茶飯事なので別におどろかない、と言ったフィリピン人もいました。

こんなことがゆるぎされているのでしょうか。日本はブルジョア的であれ、一応民主主義が確保され、情報も自由に入り、それこそ問題意識をもたなければ非常に快適です。しかしその自由こそ、その快適こそ、豊かなもてる国、帝国主義国にいる私たちの傲慢ではないでしょうか。私たちの務めは、ジェシカが提案したように、こういったことを暴露し、訴え、これら名もなき政治犯を釈放する運動をつくることだと思えます。そして民族解放のため、女性解放のため闘う戦列に再び加わるよう彼女たちを奮いかせすことだと思えます。

政治犯人權グループ 佐々木雅子

### 日本の中のアジア人

国籍法改正研究グループは、男性

の訴えとなって表われたのです。この鋭い問いかけに、日本の私たちは初めて、この問題の重大さに目覚め、連帯の運動が始まり、多くの女性グループの参加で、「キーセン観光に反対する女たちの会」がスタートし、抗議集会や、実態調査、また、関係機関への要請などが行なわれました。そして、この運動は、二年前の「アジアの女たちの会」によって、内容的に受け継がれています。機関誌第二号「観光買春を許すな」の発行を通して、多くの女性に現状を訴え、また日本基督教婦人矯風会作成のスライド「恥かしい日本人—観光買春を訴える」の上映に協力して、視覚からのより具体的な現状の訴えを行いました。

さて、ここで、観光買春の構造について考えてみましょう。日本の旅行業界は、観光買春を、現地旅行社の過当競争の産物であるとし、日本の業界が、観光買春を目的とした旅行者によって得る利益については、正当なる資本主義社会の需要と供給によってたらされるものであると主張し、観光買春に対する責任を否定しています。

しかし、台湾の精華旅行社の林社長は、その様な日本の態度を鋭く告発し、一九七七年に、日本の旅行業界紙に意見広告を出しました。「恥

れは、アジアの女性を現地調達するのみで成り立つ経済構造であり、日本がアジアの女性を搾取する「ひも」的な「売手」の立場であるとも言え、観光客として「買手」の立場との相矛盾する二重構造を生み出している。

この様な観光買春の構造及び現状を、来日したアジアの女性記者や社会活動家達にも伝え、連帯の輪を拡げました。私達のこの二年を振り返ってみると、確かに、運動の手応えはありました。けれども、広く私達の周囲に目を向けると、大勢には変化は無く、むしろ、観光買春旅行ブームは、一層盛んになっている程です。

成田新空港のコインロッカーには、ゴルフへ行く、と言って家を出た夫達のゴルフ用具が一杯つまっているともいわれています。六ヶ月間に10回の割引クーポン券で韓国へ行ったり、国内出張と偽って、東南アジアツアーに加わる夫達への不満を訴える妻達。また、暴利をむさぼるために偽装結婚等で騙されて日本に輸入され、売春を強要されたりするアジアの女性の数も、今確かに増えています。この二年間の運動に何らかの成果はあったにしても、この観光買春問題の根の深さ、問題の多様化の前

に、全く無力でしかない私達の姿を認めざるを得ません。

しかし、今後の運動を進めるに当り、無力ばかりを憂えてもおられません。何故なら、台湾の林社長の告発は、私達女性が、日本のアジアへの経済侵略によって得た富を享受している限り、まさしく私達への告発でもあるからです。即ち、私達が現実に対して目をつぶること自体、アジアの女性を間接的に差別し、搾取している事であるからです。この自覚こそ、これからの運動のエネルギーです。アジアの女性の人權の尊厳を守ることは、私達日本の女性の真の人間性回復につながっているのです。他を手段化せず、もうひとりの人の人間性を侵害せず、むしろ、その回復に深く関わるることによってこそ、私達の真の人間性回復があることを、お互いに確認し合い、今後の運動を具体的に進めてゆきたいと思えます。

性侵略グループ 高里鈴代

### 人権抑圧、政治犯の弾圧から

アジアにおける女性の政治犯は何人いるのでしょうか。私たちには調べようがありません。それほどアジア各国の政府は、闘う女性たちを秘

職を見つけることが大変困難です。語学教師のような職のある西欧系の外国人とちがって、アジア人の夫たちは、特別の技能でもない限り就職の困難は倍加されます。たとえ日本人の妻に生活力があり、夫を扶養することが可能でも、入管はなかなか夫の在留を認めようとしないうのが実状です。しかも、反対の場合、日本男性と結婚した外国人妻が夫と同居するための在留は、殆んど無条件に認められています。妻は夫の国で生活するのが当然、という男性中心の考え方が、入管行政の底流としてあるようです。私たちは、政府が日本男性中心主義の取扱いを改め、「日本人の配偶者」には、夫・妻の別なく日本に居住する資格を認める措置をとることを要求したいと思えます。

次に国籍法における性差別ですが、まず日本人と結婚した外国人が、日本国籍をとるために帰化する場合の条件に、男女の違いがあります。(五条、六条)日本人の夫である外国人男性は、素行善良、生計能力のほか三年以上の居住歴を必要としますが、日本人の妻である外国人女性は、居住歴は要求されず、極端な場合は外国からでも帰化申請手続が可能で、これは、同じ日本人の配偶者である外国人を、男女の違いにより差別すると同時に、日本人女性に対する

差別でもあります。私達は、この居住歴を夫、妻同じくするよう、改正を求めます。

第二は、国際結婚で生れた子どもの日本国籍取得についての男女差別です。国籍法第二条によれば、子どもが生れたとき、父が日本国民であれば日本国籍がとれるが、母のみが日本国民のときは、日本国籍をとることができません。日本女性が外国人と結婚したら、子どもは日本国籍をとれず、夫の国籍、外国人となり、日本への出入国、在留にも手続きが大変で、日本で生活する場合、進学や就職にさまざまな困難が生じます。そこで、現在外国人と結婚して子どもを日本国籍にするには、法律的な婚姻手続をしないで内縁関係にし、子どもを母親の戸籍に非嫡出子としていれ、その後に父親が認知する、という面倒な手続をとる以外方法がありません。とくに、国際結婚の半数以上を占める在日朝鮮人、韓国人と日本女性との結婚で、こうした不自然な内縁関係により、子どもを日本国籍にしている例が少なくないといわれます。また沖縄には、一九才未満の若い米軍人と結婚した日本女性との間に生れた相当数の子どもたちが、母の日本の国籍もとれないため無国籍となっています。米国の国籍法では、米国民でも、一四才か

ら五年以上米本土に引き続き居住しないと子どもに米国籍を与えることが出来ない、とされているためです。

最近、アメリカ人の夫、日本人妻の二組の夫婦が、子どもに日本国籍を与えよ、と東京地裁に、国籍法違憲訴訟をおこしています。すでに、日本と同じように父系血統主義をとってきたフランス（一九七三）、西ドイツ（一九七四）、スイス（一九七八）も、最近次々と法改正を行ない、子の国籍取得における父母の平等が実現しています。日本でも、すみやかに父系血統主義を、父母が平等に子に国籍を伝えられるよう改めるべきです。

私たちは、昨年来、国籍法の性差別撤廃にとりくんできましたが、社会党土井たか子議員により本年二月、ようやく国籍法改正案が衆議院法務委員会に提出され、審議に入ろうとしています。私たちは、改正案の成立と世論の喚起にむけて請願活動を提起し、今期の「女大生」のなかでも問題をみなさんに訴えて支援を求めたいと考えます。

国籍法改正研究グループ 石田玲子

#### 今こそ私たちの意識変革を

「解放の美学」では、意識の変革、主として美意識の変革を進めるような運動を進めようとしています。

この社会は、根本的には人間の意識を変えない限りどうにもならない所にきているのではないのでしょうか。今の私たちの文化は、政治汚職と相まって危機の中にみだされています。それは、人間社会の危機のみではなく、地球的破壊の危機に瀕しているのではないかと。

アジアの海や山や大地を汚染しているのは日本の資本ですが、とどまる所のない人間の自然への侵略が深まっているのです。

ちょうど一〇〇年前、世紀末ということがいわれていましたがまだその当時は行くことのできる他の新しい土地がありました。今は、南極のペンギンでさえ汚染されています。危機の末期にきていると思うのです。

一〇〇年単位でいえば、進歩と繁栄の名のもとに日本の近代がめざしたものは何であったか、そのつげが今まわってきていると思うのですが、もう少し長い尺度でいえば、ヨーロッパ近代が、産業革命以後もたらしめたものは何であったか、そしてさらに前にさかのばれば、根元には、私有財産制とともに始った父系中心、男中心の文化があるのです。そういう文化が、今、私たちに地球規模で

の破壊をつきつけているのです。

このような状況を救うのは、命の尊厳を取り戻すような運動、男の側ではなく、命を生む側の女、弱者、抑圧された者の立場にたった運動をとり戻さなければならないのではないのでしょうか。

自然の中では、ハチが花の蜜をすっても花びらをいためませんが、私たちの父系制社会がつくってきた文化というのは、受け手と与える者との関係をすべて破壊しつくす文明だと思っています。

私たちは、地球の破壊という危機に立って、人間の根元の存在である男と女の関係が改善されない限り、あとどんな解放があるのかと考えます。同時に、自然と人間の関係が見えられ、与えるものと受けとる者との喜びの中にあるような社会を願うのが女性解放だと思ふのです。

そういう意味で、男性にぜひ参加してもらって、二〇世紀の危機からいっしょに救うような運動とともに創り出していきたいと思ふます。「アジアの女たちの会」にはいろいろな運動がありますが、一番大きなところに横たわっているのは、一つの文明へのアンチテーゼだと思ふのです。

解放の美学グループ 富山妙子

## タイ、女性解放運動の活動家

### 釈放される

#### 〓釈放されたステラーさんにインタビュー〓

ステラー・タンチャイナンさんは、一九七六年十月六日「血の水曜日」といわれる軍事クーデターの際に、三〇〇〇名の学生、労働者、市民とともに逮捕された。当時、彼女はタイ全国学生センター（NSCT）の副書記長で社会と教育の担当であり、女性解放運動の活動家であった。以来、彼女は、共産主義者の容疑で、ヤートラオ女性刑務所に収監されていたが、一九七八年九月十六日、他の十八名の学生、労働者とともに、釈放された。

このインタビューは、釈放直後、日本の支援グループにむけてバンコクで語ったものである。



60人、70人にトイレは一つ

Q 逮捕された時、どんな気持ちでしたか？

A 恐ろしかったです。私たちは何の武器も持たず、素手で、独裁に反対する運動をやってきましたが、これを契機にして、悪意の人々が、私たちを弾圧したのです。目の前で友達が虐殺され、銃や爆弾の音に囲まれました。

Q

つまり、あなたは、スタム君達と一緒に逮捕されたのではなく、他の三千人と一緒に逮捕されたのですか？

A はい、そうです。タニン政権の時の刑務所の状態

A

当時の政治状況が、刑務所の状態を左右します。我々は、タニンの時、ひどく取り扱われしました。例えば、足は血がにじむほど鎖で締めつけられ、3ヶ月間、一歩も外に出られませんでした。部屋も大変汚なりました。太陽の光が入らず、空気も悪いし、蚊

とクリアンサク政権の時とは、どのように変わりましたか？

もいっぱいいました。網戸も古くて破れていたからです。私たちは、他の囚人と接触が禁止されていましたが、彼女たちは、時々、私たちの所に話しかけて、励ましたり助けたりしてくれました。でも、その人達は、看守に罰を受けたり、脅迫されたりしました。その後、国の内外の人々が、人権宣言に従うように、政府に要求してくれた結果、取扱いに一応の改善がみられました。クリアンサク政権が登場



殺人事件などもあります。結論を出す、刑務所に入った人たちの主な原因は社会的圧迫だと思っています。我々がこの問題をどういうふうに関心しているのか、まず、社会における不正義、不平等を打破しなければならぬと思います。

#### 「血の水曜日」の教訓

Q あなたは、女性の問題で大変活躍したと聞きましたが、タイの問題や役割について聞かせて下さい。

A 女性の問題や役割については、過去においても、女性差別や弾圧、社会の不当性に対して立ちあがって活動したタイの女性も何人かいました。例えば、タマサートの女性の会は、一九七〇年に設立されました。NSCT（タイ全国学生センター）の設立前です。当時、この女性の会

したのです。ほとんど、これらの人たちは、訪問してくれる親戚もありません。ある人は子供を置いて自分一人で刑務所に入り、また、ある人は、子供連れで刑務所に入っているなどという状態を見ると、私は悲しかったです。どうしたらあの人達に、タイ社会の中で生きる保障を与えられるかその方法を考えなければならぬのです。

Q その人達は、どんな罪で入っているのですか？

A 女の囚人の四分の一は麻薬常習者です。女性刑務所は四つの部分に仕切られています。第一は、未決囚で、第二は、判決を受け、しかも10年以上の刑の人、第三は、5年以下の刑を受けた人、第四は、麻薬常習者です。麻薬常習者は、刑務所を自分の家のように出入り入ったりします。社会の堕落、家族の破壊や絶望的な状態などという圧迫のため、彼女たちは暴力や麻薬の方へ走ってしまっただけです。今、タイでは麻薬の常習者の数が六〇万人にのぼったという恐ろしい統計が出ました。その貧困の圧力や経済的圧力によって、七十五%以上の人が、売春という道を歩かなければならなかったのです。又、強盗や

す。食事の状態は最低でした。全国料理コンテストの時、この刑務所が優秀だったにもかかわらず、現実には全く違うのです。時々、我々の食事に毛虫が出てきたり、小石や砂も混じっていて、胃腸の状態が最高の人しかあんな食事は消化できないですね。

Q おかずは、どんなでしたか？

A 肉や野菜はでましたか？ 魚なら一番安い魚で、どんなものかわからないほど煮くずれたもので、とり肉もたまには出るんですが、たいへん固くて、入れ歯の人は、入れ歯が肉と一緒に出てくるほどの固さです。

#### 女囚の4分の1は麻薬常習者

Q 刑務所にいた時、他の女の囚人ときあひがりましたか？

A いろんな話題について話し合っていましたか？ だいたい一般的な事や、お互いのケース、状態などについてです。あの人は、さまざまな社会的抑圧によって刑務所に入り、又、刑務所内の圧力で抑圧された結果、どうしようもない状態になってしまったのです。私は、彼女たちに、この不正義の世界と戦うような方法を示し、励ま

Q

何故、トイレに入れなかったのですか？

A トイレが故障したり、あふれたからです。

Q トイレは寝る場所と一しよですか？

A ええ、トイレは寝室の中にあつたから、どんなに臭くても、我々はがまんする他なかったんで

してからは、もう少し良くなりました。さらに、デエリエン女史（アメリカ人権担当の主任、外務省）がタイに来た時、刑務所の状態は好転しました。それまで、新聞、ニュースは読めませんでした。本も検閲の許可を受けました。他の人との接触の禁止は、まだ改善されませんでした。ほとんどの囚人は、私達が早く釈放されるように応援してくれました。ヤートラオ女性刑務所は、できた当時八〇〇人を収容するものでしたが、今は二二〇〇人も入れられていて、寝返りもできないほどでした。水は一日にボール2杯、洗濯、シャワーはたまにしかできませんので皮膚病も多かったのです。一部屋に60人、70人が入れられており、トイレは一つしかなく、時々トイレに入れないこともありました。

シャワーはたまにしかできませんので皮膚病も多かったのです。一部屋に60人、70人が入れられており、トイレは一つしかなく、時々トイレに入れないこともありました。

Q

何故、トイレに入れなかったのですか？

A トイレが故障したり、あふれたからです。

Q トイレは寝る場所と一しよですか？

A ええ、トイレは寝室の中にあつたから、どんなに臭くても、我々はがまんする他なかったんで

が社会における民主的権利や女性の権利を中心にして運動してきました。いろいろな職業の女性や女子労働者までが正当な権利、職業の保障、労働賃金の保障等を要求するような活動に参加しました。しかし、一九七六年十月六日以来、民主的権利や利益のために活躍した組織が、

Q

国家統治改革団の不当な命令で消滅させられました。あの改革団が民主主義における基本的人権を認めなかったことは、本当に大きな失敗だったんですね。女性の会を設立した大学生は、どういうふうにして、労働者、農民又は他の運動に参加したのですか。そして、どういうふうに進歩してきたのか話して下さい。

A

一九七三年十月十四日以後、各大学の女性の会が、労働者と一緒に、正義のための活動をしました。例えば、スタンダード・ガーマントのデモや、ハラジーンズ工場のストなどに女子大学生が重要な役割を果たしたのです。又、他の活動としては、労働者と一緒に学習をすすめたり、法律上の知識や労働者の基本的権利についての労働法を教えたが、売春婦とも学習をすすめたり、彼女らの問題を追求してそれを分析した上で、女性の問題の主な原因はどういうところにあるのか、どういう方法でこれらの問題を解決するかということも討議したのです。その他、展示会や講演会を開いたり、他の国の女性達と交流したりしたのです。

Q

一九七六年十月六日以後のタイの女性の役割はどうなっていましたか？

A

当時、私は刑務所に入っていたので、直接に外のニュースを聞くことはできなかったのですが、「血の水曜日」以来、我々は、その独裁政権による社会の破壊の状態が明確に見えるようになったんです。特に「血の水曜日」に女性がどんなにひどくやられたかは、全世界の人々が顔色を失うほど残酷だったんです。例えば、女を強姦して、彼女の息が止まるまで膣に棒をさし込んだり、生きたまま焼いたことなどは、動物のように残酷な精神だと思っています。それ以来、女性

A

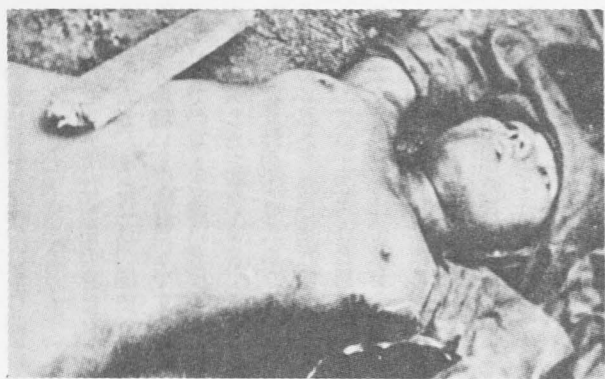
は強く抑圧され、民主的な組織をつくることはできなくなりました。しかし、一方ではあの「血の水曜日」の教訓で色々な不当な問題や、女性差別の問題が前より明確にわかるようになったとともに、女性の運動が前進するための女性の力が今までよりずっと強くなると信じています。逮捕される前、あなたは、女性の活動でどんな役割を占めていたのですか？

一九七四年にタマサート大の女性の会の書記長になったのです。

#### タイ及び世界の女性共闘して

Q 海外での女性運動についてどう思いますか？ 特に日本では、10・6事件に関する女性運動がありますが、それについてどう思いますか？

A 私たちには、そういうニュースはあまり届きませんが、私たちは、そうしたことに對して非常に感動しました。大変感謝しています。民主的反抗闘争の国際的連帯運動は、真の国際主義



「血の水曜日」に殺された女性  
「十月六日事件の背後」より

の精神の表われだと思っています。特に女性たちが、女性の権利のためだけではなく、民衆の民主

的な権利と自由のために闘っていることに大変感心します。やっと私たちは自由の身となりましたが、それには、国内での友人の闘いももちろんですが、外国での友人の闘いも重要な役割を果たしたと思います。これから、女性のより大きな権利のために私たち及び世界の女性共闘していきましょうと思います。また、私たちは、社会の発展、民主主義の発展のために、女性の役割を高めていくでしょう。刑務所を出た後の自由について、どう思いますか。もう十分安全だと思えますか。これから何を

するつもりですか？  
A まあ、自由をもらえることはうれしいです。社会や苦勞している人や女の友人のために、再び、何か役立てる機会があるからうれしいです。全国民と友人の皆様は、私達の恩人です。私たちは、皆様への恩返しに過去よりもっとと社会のための仕事をできるだけ沢山やっていきたいと思っています。本当に、外国の友人の皆様に感謝の気持ちをお伝えしたいです。人民の真の自由

がくる日まで、私たちは一緒に同じ道を歩むでしょう。



「血の水曜日」のバンコク、タマサート大学構内（「10月6日事件の背後」より）

## アジアに立つ 宇都宮徳馬

戦闘的リベラリストの魂の記録！ 四六判 ￥1,200

戦後30年、一貫して日、中、米国間の国交正常化に奔走してきたひとりの政治家の存在を忘れることはできない！政治家の良心とは何かを問いつづける宇都宮徳馬の政治・外交論集。時局論文の他に随筆、対談、回想録を収載。

講談社 東京都文京区音羽2-12-21 Tel / 03-945-1111

一食べ方と料理法入門一

## 熱帯のくだもの

吉田よし子著 B6 1,280円

熱帯のくだものの由来から、歴史、性状、買い方、食べ方、栄養価、料理法に至るまで解説した「くだもの百科」。

楽游書房 100 東京都千代田区有楽町1-13-2  
TEL 03-211-1089 振替東京7-20742

## さまざまな反響、たより

### アジアの女たちの会結成二周年集会

まず会場に入る前、受付けのあるロビーに一歩足を踏み入れただけでびっくりした。エネルギーシユな女たちのむんむんする熱気が満ちていた。いやよく見ると女たちばかりではない、男たちもかなりいるのである。ただでさえ日本の女の運動がダイナミックなものになりにくい現状で、はたしてアジアの女の問題にどれだけの人が関心を持って集まってくるだろうと半分疑って出掛けて行ったが、その疑いは見事にくつがえされた。会場へ入ってみると予感通り、すでにほぼ満席。通路に座り込む人もいる。参加者の顔ぶれはと見渡すと、意識と関心を持ったたくさんの女たちと、四分の一は占めていたのではないかと思われる男たち。それに日本以外の国籍の人を少なからず見つけた。この二周年記念会の準備にたずさわった人たちはめいめい仕事をしながらの活動であったと聞くが、主催者たちの努力に敬意を払わずにはいられない。――

あごらMINI（二十七号）より

北村三和子

### 民衆を演じるということ

本で読んだことばを自分の体をもって、身ぶりや声で表現してみる。直接体験したことも、もう一度基本の身ぶりと声のひとつひとつに分解し、くみだててなおす。

こうして「かたち」として確認された民衆のたたかいを、民衆のあつまるところにもちだす。それが運動の演劇というものだろう。――

運動を知識としてひろめるのが目的ではない。民衆を演じることを通して、民衆と対話することだ。女たちの劇の中でいちばん印象に残ったのは、コ・ウンの詩を読んだチョン・キョンモの姿だった。詩人コ・ウンがトンイルの娘たちに語りかけ、かの女たちのたたかいにまなぶというだけではない。それを読みながら、かれは劇をつくった女たち、観客に語りかけ、その場にいた人たちを通して、さらに日本民衆によびかけているように感じられた。これがほんものの運動であり、演劇の出現する時間でもある。

（水牛・第四号） 高橋悠治

### 終りの宣言が一番よかった

期待通り楽しい時を持ちました。少しおくれてつきましましたのと、会場が暗かったので、プログラムが読めず、始めはとけこめませんでした。が、だんだん盛り上って劇の時は、往年の築地の舞台を見ているように皆さん随分苦心されたのだと思いました。終りの宣言が一番よかったと思いましたが、うちうちは知らされていませんでした。ハッキリしました。

近くの国々を知らなすぎるのは、はずかしいことです。企業の進出がどんなに迷惑をかけているかわかりました。友達も同感だと思えます。

「女大学」とは日本的で面白いと思えました。若い方々が参加されて

### シノット神父、客席から舞台へ

私は日本語がわからないにもかかわらずこの芝居にとっても感動しました。私は韓国から追放されましたが、それは女工たちのためでした。彼女たちは私に「韓国を去らなければならぬのなら、どうぞアメリカや全世界の国に行って私たちのことを伝えて下さい」と言いました。

アメリカへ帰るといつも思うのですが、男性より女性の方が私の

盛んになっていくのを祈って居ります。心の窓を開いて下さって有り難うございました。中村花子（70才）

### 私自身の問いかけと励まし

「集い」は、私にとって本当に意義深いものとなりました。目を開かされる思いというのでしょうか。

女たちの生き生きとした声は、私自身の問いかけと励ましとなり響いてきました。特に印象に残ったのは、創作劇（ウリ・スンニ・ハリラ）でした。すばらしかったですね。

チョンキョンモ氏（後になり知る）の詩の朗読の時は、劇ではないんじゃないかと、錯覚したほどでした。詩の中で「私に統一はないが、君たちには統一がある、私は真の民主主

訴えに敏感に反応してくれそうです。女性の自覚がこのような運動を助けてゆくのだと思います。男性が作ったこの世の中はまったく地獄に近いような世界でしかなく、この世界を救う力は女性からであるのではないかと思います。今日の非常に感動的な芝居をこらになつて、女性の力によってこの世の中を変えようと、そんな気持ちになつて欲しいと思います。（シノット神父）

# 全国各地の新聞に紹介

## アジア女性解放のつどい

私たちの日々の生活は、アジア諸国とのつながりを抜きにはもう考えられません。多数の日本企業が海外進出して現地操業し、日本の「繁栄」を支えています。それに伴って公害輸出、天然資源の収奪、労働者の酷使などが「経済侵略」として現地の人々から告発されています。また「買春」観光に押しかけ、ひんしゅくを買っている日本人男性の群れ、「アジアの国々への侵略に再び加担すまい」との立場で七七年に発足した「アジアの女たちの会」が、二周年を記念して十日午後、東京・港区の東交会館で「アジア女性解放のつどい」を開きました。参加者は在日朝鮮人や各国の留学生なども交えて約五百人。会場に入りきれないほどの盛況だった。

## 「同情」より「怒り」を

### 許せない 進出日本企業の実体

▽開く韓国の繊維労働者 プログラムは三部構成。韓国、フィリピン、タイ、台湾、インド、などアジア各地の女性から寄せられた自国政府や日本企業への告発をこめた便りや詩、歌の紹介で開幕。続いて過酷な条件下で権利擁護の闘争に立ち上がった韓国の繊維労働者の闘いを伝える集団創作劇「ワリ スンリ ハリラ」(わた。週休もなく、眠気覚ましを要する)が上演された。

△女性の力で 七二年、女性職工たちは男性中心の御用組合を批判し、女性支部を独自に選出して立ち上がり、長を擁護し、団結だけを武器。労働組合を抱きこんだ企業側の弾圧は厳しく、リーダーは次々に逮捕されていきました。ろう城とハンガーストライキによる抵抗。組合執行部とが対立しています。投票場に向かう女性たちの選挙では、投票場に向かう女性

二月十七日付「北海タイムス」より  
たちに入金を浴びせかける事件  
▽同情ではなく怒り  
第三部、パネラーの問題提起で

重苦しい内容が、台唱を交えてミュージカル風に展開します。残酷な弾圧の場面もコミカルに描かれます。会場には笑い、そして涙のうちに闘いへの共感が広がってしました。  
韓国民権化運動のなかで作られた「ワリ」(ワリディカル派の歌)も劇中で歌われました。  
「心を曲げて生きるよりは、立つたまま死のうしろなにか、民主主義をわれらに、民主主義をわれらに」  
獄中に多くの仲間を奪われながら闘争は今も韓国で続けられています。

七五年四月、韓国で「人民革命党」の人々が死刑になりました。無実を主張して国外追放されたアメリカ人神父ジエムス・シノックさんも会場に姿を見せ、求められて劇の終わりに舞台上上がり、観客に呼びかけました。  
「男性のつくってきた世界は地獄に陥っていて、救うことのできるのは女性の力だけです。女性が立ち上がって初めて男性が続くことができます。がんばって下

松井さんは続けて「私たちに必要なのは確かに怒りです。女性差別をしている企業が、アジアに進出し低賃金で女性を酷使し、公害を排出していることへの怒り、女性をべつ視している男性が、よその国に女を買いあさりに行き、その怒り。女を拷問し、殺している状況に無関心にいることはできないのです」  
各国に出かけるを必ず、この質問されるといいます。「日本の女性には男性が女を買いに海外へ行くのを許しているのですか?」  
また、あるフィリピンの修道尼は訴えた。「今苦しんでいる人の欲しているのは、あなた方の同情ではなく怒りなのです」

再びアジアへの加害者にならなために「を」を決定した同会の活動は「日本の良心」として、今後、重要さを増すでしょう。



立ち上がった女性労働者に対する攻撃は厳しかった。創作劇「ワリ スンリ ハリラ」から

◆このほか、「中国新聞」、「愛媛新聞」、「京都新聞」、「四国新聞」、「長崎新聞」、「山陽新聞」、「毎日新聞」、「社会新報」、「朝鮮時報」、「祖国統一新聞」、「婦人民主新聞」、「婦人展望」、「あごらミニ」、「PARC通信」、「水牛」、その他に掲載された。

こみ上げてきました。参加できなかったのが本当に残念でした。

中野康雄(名古屋市)  
交流会にはとても不満

三月十日の「アジア女性解放」のつどいに参加した地方会員です。集会は期待していたよりもすばらしく、特に創作劇は参加された方々の熱意及び内容に感動すると共に観る者の側に新たな闘争エネルギーをふきこんでくれたように思います。それは私自身が韓国籍をもつ在日朝鮮人という立場からよけいそう思ったのかもしれません。

一方で交流会にはとても不満でした。私はいつも会報を読むだけの沈黙、無行動会員でしたので、東京で活動されている方達とせめてことばなり交わしたかったのに結局ほとんど話すこともなく帰ってしまいました。私自身消極的であったことも大きな原因の一つだったでありましよう。……(私たちも本当に残念でした。せっかくの出合いの機会であったのに。交流会にも一〇〇名以上集まり、ひとりひとりに声をかける時間もなく、こういう時はほとんど名乗りあげて下さい。)

権沙代子(大阪市)  
同じ人間として心が痛む  
ここ数ヶ月、自分のことばかりを考えていた私は、はじめのうちは、

## 79 夏の合宿

とき 8月25日(土)―27日(月)

ところ 伊豆方面(交渉中)

テーマ 買春観光――なぜ私たち

自身の問題なのか  
80年代の女性解放運動の方向を考えながら、会の今年の年間テーマである「買春観光」を、歴史、経済、文化、性、家族、国際関係などさまざまな角度から徹底的に話し合います。

参加費 一泊四千元 定員50人  
申し込み 7月末。往復ハガキで五島まで。会員に限る。

義とは何かを君たちから学んだ」とありますが、私もまた、真なるものは何かを教えられました。

中野玲子(名古屋市中)

集会をカセットで聞く  
先日の「アジア女性解放のつどい」はすばらしかったと、当日の夜名古屋

屋にコウフン気味で戻ってきた玲子さん(つれあい)から聞きました。彼女が主催の人からOKをもらって録音したカセットを聞き、チョンキョンモさんの読み上げる詩、シノック神父のメッセージ、劇の女性達が歌う「ワリ・スンリ・ハリラ」、涙が

